

條約國の一なり。

産業。農産物は甚だ少なく、國民の消費する半ばに足らず、林業と牧畜業とは頗る盛なり、人民は河川の水力を利用して、製造に熱心なり、其最も盛なるは絹布、綿布、時計及び寶石細工なり、就中時計の製造其名最も高し、これを以て商業甚だ盛にして、主なる輸出品は絹、木綿、時計及び製乳とす。

交通。道路よく備り、アルプス山を越ゆる大道は世界の奇觀なり、又鐵道及び電線共に發達し、交通至便なり、而してス井ツツルよりイタリーに通ぜるセント、ゴータード¹ 隧道は、其長さ九哩四分の一あり。

首府 はベルン² にして、チューリッヒ³ は第二の都會

1: St. Gotthard
St. Gotthard
2. Bern
Berne

3. Zürich
Zürich

Frankreich
France

なり。

第八節。フランス。

總論。

France

ヨーロッパ大陸の西部を占め、東はアルプス山系によりてイタリー及びス井ツツルと境し、又ドイツに接し、北はイギリス海峡を隔て、イギリスに對し、又ベルギーに接し、西は大西洋に濱し、南はスペインに接し、又地中海に面す。

面積。三萬四千餘方里、我國より少しく大にして、イギリスの二倍より少しく小なり。

地勢。國の東南は多く山地にして、北西部は大平原なり、南境はピレニース山脉、スペインの境を限り、東方イタリー

(FRANCE) フランス

(四十五)

- 1. Mont Blanc
Mont Blanc
- 2. Auvergne
Auvergne

- 3. Corsica
Corse
- 4. Napoleon
Napoléon

- 5. Garonne
Garonne
- 6. Loire
Loire

- 7. Rhône
Rhône

及びス井ツツルと境を接する所は、アルプス山系の西側に
して、モンブラン¹の高峰あり、國の中部オーヴェルヌ²高
原の外國中凡て平地にして、ヨーロッパ北部大平原の一部
を組成す。

海岸。地中海岸の中、東部はアルプス山系の端、走りて斷
崖を作り、南東の沖にコルシカ³の大島あり、ナポレオン⁴
の生地を以て著はる、西部は低平にして沙濱多し、澤湖少か
らず、ビスケー湾沿岸は沙丘相連り、澤湖を控ゆ、ブリタニー
の半島地は海岸絶壁多し。

水系。西方ビスケー湾に注ぐものには、ガロンヌ⁵河及
びロアル⁶河あり、南方地中海に注ぐものには、ローヌ⁷河
Loire Rhône

Seine
Seine

あり、北方イギリス海峡に注ぐものには、セイヌ河あり、河口
の開て三角江をなすもの、往々これありて良港をなす、且つ
潮波の侵入急劇にして、支那錢塘灣又は印度ガンヂス河口
に於けると同一の現象を呈するものあり、セイヌ河は此好
例なり。

氣候。南方に至るに従ひ、温暖なり、又東に往くに従ひ海
洋の影響漸く減じ、冬愈寒く、夏愈暑し。

住民。人口は三千八百餘萬、ラテン種の一支部に屬すと稱
すれども、本來は、チニートン種なり、大抵舊教を奉ず、高等及
び中等教育は甚だ完全なれども、初等教育は未だ普及せず。
フランス人の性質は快活なり、且つ都雅にして嗜好の優

美なるは世に名高し。

政治 共和政體にして、行政權は大統領これを握り、立法部は上下兩院よりなる、上院の議員も亦市民より撰擧す。

常備兵五十五萬、戰時には二百五十萬の陸軍を有す、海軍は非常に強盛にして、世界第二に位し、本邦條約國の一なり。

産業 植物は三帶の別あり、穀物帶、葡萄帶、橄欖帶これなり、世界第一の釀酒國なり、葡萄の産出夥しきは、世人の普く知る所なり。

鐵と石炭とを産出する二三の大産地なきに非ざるも、兩者の位置相距ること遠くして、其業イギリスの如く振はず。

工業は極めて盛なり、其最も大なるを絹となし、リヨンこ

Lyon
Lyon

Lyon

北
東
西
南

れが中心なり、葡萄酒これに次ぎ、毛織物又これに次ぐ、而して精巧なる美術品に至りては、實に全世界に冠たり。貿易。其地位三海洋の間に在て、外國貿易には最も便利なり、明治三十年中、本邦より此國に輸出せる高は二千六百萬圓にして、本邦輸出總額の二割弱を占め、第二位の華主なり、其輸出品の主なるものは、生糸類、羽二重及び絹手巾とす、又此國より本邦に輸入せし高は凡そ五百萬圓にして、縮緬吳呂を主なるものとす。

交通。非常に發達せ、鐵道二萬三千餘哩、運河一千三百里、舟楫を通ずる河の長さ二千二百里に餘れり、電線の長さ二萬四千餘里、線條の長さ八萬里に達す、マルセイユは世界交

Genève

四十七

通の要衝にして、パリトはフランス交通の中心なりとす。

地方誌。

パリ ^{Paris} は首府にしてセイヌ河に跨り、人口二百

五十四萬、ヨーロッパ第二の都府なり、府を圍らすに堅固な

る廓壁を以てす、府内には廣大なる建築物あり、就中ノートル

ダム ^{Notre Dame} 大寺、凱旋門等最も名あり、パリトは服装流行の中

心にして、又娛樂の別天地なり、本邦公使館あり。

ボルドー ^{Bordeaux} はガロンヌ河口に位し、葡萄酒の産出を以て

其名世界に高し。

トゥールーズ ^{Toulouse} はガロンヌ河の上流に位し、此國南部商業

の中心にして、スペインとの貿易亦盛なり。

- 1. Paris
Paris
- 2. Notre Dame
Notre Dame

- 3. Bordeaux
Bordeaux
- 4. Toulouse
Toulouse

- 1. Havre
Le Havre
- 2. Marseille
Marseille

- 3. Lyon
Lyon
- 4. Lille
Lille

- 5. Belgien
Belgique

アイヴル ^{Havre} はセイヌ河口の右岸にありて、パリーの北西に當る、此國第二の貿易港なり。

マルセイユ ^{Marseille} 地中海岸にありて、アジア、ヨーロッパ、アフリカ交通の要衝に當り、此國第一の貿易港なり、人口四十四

萬、又日本郵船會社汽船、ヨーロッパ線の航路に當れり。

リヨン ^{Lyon} はロイヌ河の上流に位し、マルセイユの北西に

當る、絹織物製造の中心にして、フランス第二の都會なり、人口四十七萬、本邦領事館あり。

リール ^{Lille} はパリーの北方に當り、織物製造の業盛んなり、

府の堡塞は堅牢第一と稱す。

第九節。ベルギー。

(Belgien) Belgique

Belgium

(五十一)

1. Luxemburg
Luxembourg

- 2. Maas
Meuse
- 3. Schelde
Escaut

北はオランダ、南はフランス、西は北海、東はドイツ及びリ
ュクセンブルグ¹大公國に接す、面積一千九百餘方里。

地勢。南及び東に高く、北及び西に低し、西方最低の地は
海面の下にあり、海岸線は僅に二十五里に過ぎず、國の北半
部はヨロツバ北部大平原に屬し、東方は稍高し、西方は土
地低平にして、堤防は四十乃至五千尺の高さに達し、以て海
水の來襲に備ふ。

水系。マース²及びシエルト³の二流あり、二河共にフ
ランスに發源し、此國を貫流してオランダに入る、故に此國
水運の便は甚だ大なり。
氣候。氣候は概してイギリス南部の如きも、稍大陸性を

Kelt
Celte

Belgium

帶ぶ、又東方に在ては冬時寒氣甚しく、西方に在ては濃霧多
し。

住民。人口六百五十萬にして、我九州の人口に超過す、フ
レミング族を多しとす、即ちセルツとチエルトンとの混合
せるものなり、多くは舊教を奉ず、教育は凡て完全にして、高
等教育の如きは、殊に他國に卓越せり。

政治。立憲王國にして、陸軍は常備五萬の兵あり、海軍の
設けなし、本邦條約國の一なり。
産業。農業の進歩せること他に比類少し、されば其人口
非常に稠密にして、國土狹小なるにも拘はらず、農産物の剩
餘を外國に輸出せり、又鑛物に富み、多量に産出するものを

(UNION)

(五十三)

石炭とす、工業甚だ盛なり、これ全く其石炭の供給夥多なるによる、織物及び器械等を重なる製造品とす、又商業頗る盛にして、其大部分はフランスとの貿易なり。

交通。水路、鐵道、電線の發達して其交通の至便なること、イギリス、ドイツ諸國に劣らず。

地方誌。

ブリュッセル^{Brussels} 1 は人口五十三萬、首府にして小ハリーの名あり、又大學の設けあり、本邦公使館の新設あり、此府の南凡そ五里の所にウオータール^{Waterloo} 2 の古戰場あり、アントワープ^{Antwerp} 3 は第十六世紀の始めに於ては世界商業の中心たりし所にして、今尙商船の出入頻繁なり、大陸のリヴァプールな

- 1. Brüssel
Bruxelles
- 2. Waterloo
Waterloo

- 3. Antwerpen
Anvers

りとの稱あり、日本郵船會社の所謂ヨーロッパ線の航路に當る、本邦領事館あり。

第十節。オランダ^{Holland}。

ヨーロッパの西北部に於ける、低平なる小國なり、北及び西は北海、東はドイツ、南はベルギーに接し、面積二千一百方里、我九州より少しく小なり。

地勢。西北部にズイデルゼー^{Zuider Zee} 1 2 の灣深く入り込む、土地多くは海面より低く、海はオランダ人の永久の敵なり、オランダ人は常に海洋より新陸地を作出するを務む。

水系。河流頗る多く、マース河及びシエルト河はフランスに發源し、ベルギーを経て、一は國の南部を貫流し、一は國

(一) (二) (三)

- 1. Niederland
Hollande

- 2. Süder See
Zuyder Zee

の東南部を貫流す、又ライン河はドイツを経て、南部を西流す、此三河の口は數多の三角洲に分れ互に相錯綜す。氣候、概して溫和にして、殆んどイギリスに同じ、但し國の東北隅は冬季寒氣烈しく、運河は氷結す。住民、人口凡そ五百萬、チユートン種に屬し、宗教は過半新教にして、教育は普及す、オランダ人は自由を愛し、勤勉、節儉にして、舊習故俗を慕ふ。政治、立憲王國にして、海軍は稍強勢にして、巡洋艦十三隻を有す、徳川氏の世以來本邦と通商し、維新前西洋の學藝を輸入したるは、主として此國の媒介による。

産業、土地の一半は瘠土砂地なり、唯牧場多く、隨て牛酪

乾酪の産多し、工業盛ならず、オランダは昔時世界第一の商業國たりしなり、其位置ヨーロッパの西北に位し、ライン河の口に立ち、イギリスと相對し、又富強なる諸國に隣れるを以て、商業上非常に便利なる地位にあり、故に現今貿易尙盛大にして、輸出入の總額二十四億圓に達す。

交通、運河、河流、鐵道、電線等凡て交通の至便なること、イギリス、ドイツ諸國に劣らず。

地方誌

ヘーグ ^{Hague} は首府にして、本邦公使館あり、アムステルダム ^{Amsterdam}

² は人口殆んど五十萬、ズイデルゼー灣に臨み、九十餘の島嶼の上に立てり、貿易甚だ盛にして、又金剛石細工を以て名

1. Haag
La Haye
2. Amsterdam
Amsterdam

- 1. Rotterdam
Rotterdam
- 2. Britische Inseln
Iles Britanniques

あり、ロツテルダム¹はアムステルダム²の南西に當り、貿易
アムステルダムに次ぐ。

第十一節。イギリス諸島²

總論。

British Isles

ヨーロッパの西に位する群島にして、其關係恰も本邦の
アジアの東端に在るが如し、但し彼は大陸の西に在りて、此
は大陸の東に在るの差異あり、面積凡そ二萬方里あり。

區劃。二大島と五百餘の小嶼より成る、二大島の一は大
ブリタインにして、イングラント、スコツランド及ひウエイ
ルスの三部に分れ、其面積凡そ我本洲に等しく、一はアイ
ランドにて、其面積凡そ我北海道に等し。

- 1. Grossbritannien
Grande Bretagne
- 2. England
Angleterre

- 13. Waes
Pays de Galles
- 4. Schottland
Ecosse

- 5. Irland
Irlande
- 6. Irische See
Mer d'Irlande

地勢。イギリスの地勢は國の區劃に従ひ、大ブリタイン
とアイルランドとの二つに分つ。

(甲)大ブリタイン¹の地勢。本島の地勢は北方は一般に
高く、平地少なく、南方は高地あれども平原も亦廣し、これに
よりて地勢上自然の區劃をなす、後者はイングラント²及
ひウエイルス³の地域に當り、前者はスコツランド⁴の
地域に當る。

沿岸出入に富み、海岸線非常に長く、良好なる港灣少から
ず、スコツランドの西岸には峽灣多し。

(乙)アイルランド⁵の地勢。アイルランドはアイリツシ
ユ海⁶を隔て、大ブリタインの西に位し、全島石灰石の平

(一)イギリス諸島

原にして、周圍には高地あり、中央平原は國の大部を占む、國内廣漠たる牧場多く、又極めて沼澤に富む。

水系。河流は凡て長からずと雖ども、其河口開て三角江をなし、障碍物少なきを以て、皆自ら良港をなす、これ此國海事の發達を來したる一源因なり、且つ河床の傾斜緩なるを以て、船舶は溯て、内地に深く入ることを得べし。

大ブリタインは分水山脉國の西方に偏在するを以て、西側即ち大西洋面にはセヴァーン^{Severn} 1 河を除くの外長流少し、東側即ち北海面の河は稍長く、テイムス^{Thames} 2 タイン^{Tyne} 3 等其主要なるものとす、南側即ちイギリス海峽面に於けるものは主要なる河なし。

- 1. Severn
Severn
- 2. Themse
Tamise

- 3. Tyne
Tyne

- 1. Shannon
Shannon
- 2. Loch
Loch

アイルランドの河は中部平原を貫通して、南西流するシヤンソン^{Shannon} 1 河を主なるものとす。湖沼。スコットランドは頗る湖沼に富み、皆ロツクの稱あり、其形狭長にして、河流の経路に當り、スカンヂナヴィアの湖に似たり。

氣候。北温帯に在り、且つ洋中に位するを以て、其氣候概して温和にして雨量多し、就中西岸は東岸に比して、温和濕潤なり、これ灣流の影響による。

住民。人口殆んど四千萬、其密度はイングランドの平原を第一とし、一方里につき、一萬人を超ゆる所少からず、ロンドン^{London} は全人口の六分の一以上を有す。

人種。チユートン種を第一とす、スコットランド、ウエイ
ルス、アイルランド等には「セルツ」種少なからず。

宗教。新教を奉ずるもの多し、アイルランドには舊教、新
教共に行はる。

教育。初等中等の教育はドイツに比して大に劣れり、高
等教育も未だドイツを凌駕するに至らず、大學は凡そ八あ
り。

風習。保守の氣象に富み、舊慣を容易に捨てず、又古より
海を以て國を立てたるを以て最も海軍を重んずるの風あ
り、人民の性質は一般に着實なり、アイルランド人は博愛の
性質に富み、艱難相濟ふの美風を存す。

政治。立憲政體の國なり、イギリス帝國は甲、大ブリタイ
ン及びアイルランドの合衆王國、乙、印度殖民地、保護地、屬地
とより成る、イギリス國の皇帝は合衆王國の王にして、又印
度皇帝及び殖民地、保護地、屬地の元首たり、議會は上下の二
院より成る。

兵備。陸軍は常備兵二十二萬あり、海軍は世界第一と稱
す、戰艦、巡洋艦、水雷艇等を合して、三百八十五隻に達す、
等戰艦三十、一等巡洋艦十六あり、本邦條約國の一なり。

産業。農産はアイルランドを除き近來大に衰へ、食料品
は外國の輸入を仰ぐ、林産も亦少し、水産も工業及び商業に
比しては實に微々たるものなり、蓋しイギリスは鑛産、殊に

鐵と石炭とに富むこと世界第一たり、而して石炭は鐵の產地に近くして、製鐵上甚だ便利なり、且つ良港多く、國の位置は世界陸地の中心に位し、其領地は廣大にして、棉花其他製造の原料を多量且つ廉價に産出す。

斯の如く、鐵、石炭、港、位置及び領地の多きことは、イギリスをして世界第一等の商業國、且つ工業國たらしめ、且つ自國を以て世界の大市場となし、自國の船舶を以て世界の大運送具となすに至らしめたるなり。

工業。此國の三大製造品は、織物及び鐵にして、綿布は製造品中最も重要なるものとす。

一、此國にて製造する織物の總價額、一年殆んど二十億

圓にして、鐵器は殆んど十三億圓なり。

二、此國木綿工場の有する紡錘及び機杼は甚だ多く、殆んど世界各國の有するものゝ和に等し。

商業。工業に於て世界の第一位を占むるのみならず、商業に於ても亦然り、輸出入額は一年の總計殆んど七十四億圓に達す、輸入品の重要なるものを穀類、棉花、羊毛、肉類、材木及び砂糖等となし、輸出品の重要なるものを綿布、毛布、鐵、機械、石炭等とす、自由貿易にして、酒類、茶、煙草等を除くの外、一切輸出入の税を課せず。

今本邦との貿易額を擧ぐれば、明治三十年中本邦より此國に輸出したる高は凡そ九百萬圓にして、米、羽、二重及び絹

手巾を主なる物品とす、又此國より本邦に輸入したる高は、凡そ六千五百萬圓にして、本邦輸入總額の三割を占め、木綿及び毛織物類、綿織糸、鐵類を主なるものとす。

交通。道路は完全にして、水路及び鐵道の便、大なること世界に其儔稀なり、此國河川の特性、甚だ交通に便なるのみならず、數多の運河ありてこれを連絡し、益其利を大ならしめたり。

運河の全長凡そ一千六百里あり、其中最も大なるは、マンチエスター運河なり。

鐵道線路の全長二萬一千餘哩にして、電信線路の長さ一萬七千餘里、線條の長さ十二萬里に垂んとす。

Manchester
Manchester

又此國の港灣は、世界各國交通の中心となるもの少からず、リヴァプールの如き其最たるものなり、海運の業は夙に發達し、此國の船にて、内國及び外國の航通に従事せる漁船及び帆船の噸數九百萬噸、海員の數二十四萬人に達し、全世界の開港場中、到る所此國の船を見ざることなし。

地方誌。

一、イングランドの都府。

甲、東岸の部。 London ロンドン¹は首府にして、又世界第一の大都府なり、テムズ河に跨り、其大部は左岸にあり、其緯度は日本の北端より、尙少しく北なり、其近傍グリーンニッチ²は本初子午線の通過する所たり、人口四百四十三萬、其外廓を

1. London
Londres
2. Greenwich
Greenwich

(ローロックス) イギリス諸島

- 1. St. Paulo
St. Paul
- 2. Westminster
Westminster

合すれば、六百萬を越ゆべしと云ふ、廣大なる建築物甚だ多く、王宮セントポール¹寺の圓塔、國會議事堂及びウエスト
 ミンスター^{St. Paul}寺院は特に壯觀とす、就中ウエストミンスター^{Westminster}
²寺院は國王歴代即位の式を擧ぐる所にして、又其陵墓の地なり、ロンドンの氣候は溫和にして、日本中部の氣候に同じ、但霧多きは人の困却する所なり、如何なる大船も、河口を溯て此府に達するを得べく、一ヶ年出入の船舶、總計一千六百萬噸の多きに達し、世界中第一たり、本邦横濱を距ること凡そ一萬哩、日本郵船會社の所謂ヨーロッパ線の航路に當り、毎月一回横濱よりロンドンを経て、アントワープに至る、本邦公使館及び領事館あり。

- 1. Hull
Hull
- 2. Newcastle-am-Tyne
Newcastle-sur-la-Tyne
- 3. Armstrong
Armstrong
- 4. Portsmouth
Portsmouth
- 5. Southampton
Southampton

ハル¹ロンドンの北に當れる要港にして、本港とヨーロッパ大陸、アメリカ、オーストラリア、印度との間に漁船の定期航海あり、貿易の盛大なること、ロンドン及びリヴァプールを除きては、此港はイギリス中第一たり。

ニューカッスル、オシ、タイン²ロンドンの北に當りて、タイン河に濱す、造船の業甚だ盛なり、此府は又アームストロング^{Armstrong}氏の生れたる所なり。

乙、南岸の部。ポーツマス⁴英國南岸の一大軍港にして貿易亦繁盛なり。

サウサンプトン。ロンドンの南西に當る要港にして、宏大なる造船所あり、スペイン及びポルチユガルとの貿易盛

(ヨーロッパ) イギリス諸島

- 1. Liverpool
Liverpool
- 2. Birkenhead
Birkenhead

- 3. Gross-New-York
Grand-New-York
- 4. Manchester
Manchester

大なり。

丙、西岸の部。リヴァプール¹は此國第二の都にして、ロンドンに匹敵する大港なり、人口六十三萬、對岸のビルケンヘッド²府を合すれば七十萬を超ゆべし、ロンドンを距ること二百一哩、四時間にして達すべく、マンチェスターを距ること三十一哩、四十五分にして達すべく、其間又有名なる運河あること前に述べたり、外國貿易額は此國全體の三分の一を占むるを以ても、此府の繁盛なること、推して知るべし、北アメリカの大ニューヨーク³へ三千〇四十七哩にして、北アメリカとの貿易は、遙にロンドンに超過す。

マンチェスター⁴、リヴァプールの東にありて、對岸のサ
Manchester

- 1. Salford
Salford
- 2. Leeds
Leeds

- 3. Birmingham
Birmingham
- 4. Cambridge
Cambridge

- 5. Oxford
Oxford

ルフォード¹を合すれば、人口七十五萬に達す、世界の最大工業地方の中心として知らる、木綿の府の稱あり、鐵路四方に走りて、リヴァプールとは有名なる運河を以て通ず。

丁、内地の部。リーツ²はロンドンの北に當り、毛織物の製造は此國第一たり。

ヴァーミンガム³、ロンドンの北西に當り、殆んどイングランドの中心に位す、人口五十餘萬、金屬器具の製造を以て其名世界に高し。

又ロンドンの北に當りてケンブリッヂ⁴あり、ロンドンの西に當りてオクスフォード⁵あり、共に大學の設けを以て其名世に著はる。

(ローランド) イギリス諸島

- 1. Glasgow
Glasgow
- 2. Edinburgh
Edimbourg

- 3. Leith
Leith
- 4. Dublin
Dublin

- 5. Belfast
Belfast

一、スコットランドの都府。
 ○グラスゴーⁱ スコットランドの西岸に接近し、クライド河に跨る、ロンドンの北北西にあり、スコットランド工業の中心にして、造船業の盛なること英國第一たり、人口凡そ六十二萬あり。

エザンバラ² グラスゴーの東に當り、出版、印刷、醸酒の業
 Edinburgh

盛大なり、有名なる大學の設あり、エザンバラの北二哩にレ

イス³ 港あり。
 Leith

三、アイルランドの都府。

ダブリン⁴ は首府にして、國の東岸に位し、大學の設けあり、ベルファスト⁵ はダブリンの北に當る、工業貿易の盛なり、

Belfast

ることアイルランド第一なり。

イギリスの領地。

イギリス帝國の全面積は、百九十萬方里にして、世界陸地の五分の一以上を占め、人口三億八千萬を超ゆ、而して地球上到る所殆んど其領地あるを以て、イギリス人は太陽決してイギリスの國中に没せざるを誇れり。

第十一節。 スペインⁱ

スペインはフランスの南にありて、ポルチユガルと共にアイベリア² 半島をなし、ヨーロッパの西端に位す、北はピステイ灣に濱し、又ピレニース山脉を以てフランスに接し、東及び南は地中海及び大西洋に濱し、西はポルチユガルに

(ヨーロッパ) スペイン

(七十三)

- 1. Spanien
Espagne
- 2. Iberische
Iberique

接し、又大西洋に面す、面積二萬八千方里あり。

地勢。地勢は一大高原にして、北境フランスと接する所にピレニース山脉あり、國中にも所々に高峻なる山脉あり、又海岸に狭長なる低地あり。

沿岸は極めて出入に乏し、然れども良港少からず、其南端はジブラルタル海峡を隔て、^{Marocco} アフリカのモロッコに對す、今アラビア半島と、アイベリア半島とを比較すれば、左の如し。

アラビア半島。

アイベリア半島。

一、大陸の西部にある半島なり。

一、全上

二、高原性なり。

二、全上。

三、海岸線屈曲に乏し。

三、全上。

四、バベルマンデブの海

四、ジブラルタルの海峡の

一方なる、アデン

一方なる、ジブラルタル

は、イギリス領なり。

は、イギリス領なり。

五、往古は文化大に開け

五、中古には強大なる國な

たりき。

りき。

水系。大西洋に入るものに、^{Douro} ツーロイ、^{Tagus} テーガス、² 及び

³ アダルキウイルの三河ありて、前二者はポルチエガルに

入る、又地中海に入るものには、⁴ エブロー河あり、スペイン

國內に於ける河流の利用すべきもの少し。

- 1. Duero Douro
- 2. Taje Tage
- 3. Guadalquivir Guadalquivir
- 4. Ebro Ebre

氣候。半島は四様の氣候を有す、皆溫度、降雨及び風位に於て相異れり、第一はピレニース及び北方の氣候にして、降雨頗る多し、第二は東方斜面の地中海氣候にして、稍溫和なり、第三は南方のアフリカ氣候にして、熱風吹き來りて、氣候甚だ惡し、第四は中央高原の頗る乾燥なる氣候にして、寒暑共に甚し。

住民。人口は一千八百萬、アリアン人種なれども混淆せり、殆んど皆其國教たる舊教を信奉し、教育は古昔高等教育を以て、有名なりし所なれども、現今は中等及び初等教育と共に萎靡として振はず。

スペイン人の性質は、其氣候の如く差異頗る甚し、闘牛今

尙盛んに行はる。

政治。立憲王國にして、兵備は陸軍、海軍稍整頓せしも、近時北アメリカ合衆國と、戰端を開きて大敗したり、本邦條約國の一なり。

産業。最も肝要なる産業を農業とす、其耕地は地中海岸の地方に多し、蓋し其水利稍宜しきに由る、牧畜、漁業及び工業も亦盛なり、其地位たる大西洋及び地中海の間に介し、良港頗る多きも、商業衰頽して復昔日の觀なし。

地方誌。

マドリッド Madrid 首府にして、海面を抜くこと二千四百尺の高所に位して、テージガス河の支流に跨る、人口四十七萬、方形

Madrid
Madrid

(ヨーロッパ) スペイン

(七十七)

の大府にして、周圍五里、繞らすに城壁を以てす、其大學は古代の創設に屬して、今尙名あり、又國立圖書館には五十萬卷の書を藏す。

巴塞ロナ¹ Barcelona はスペイン第二の大都府にして地中海岸に位し、マドリッドの東に當り、一大貿易港なり。

カデズ² Cadiz は國の南西岸に位し、アメリカ發見の當時は、新舊兩世界交通の要點なりし港にして、貿易今尙盛なり。

スペインの領地は、アジアに於ては、フィリッピン群島、アメリカに於ては、キューバ³ を主なるものとす。

ジブラルタル⁴ Gibraltar はスペインの南端に近き一小半島なり、面積一方里の三分の一に満たずと雖ども、地中海の門

1. Barcelona
Barcelona

2. Cadiz
Cadiz

3. Cuba
Cuba

4. Gibraltar
Gibraltar

戸を扼し、其砲臺は堅牢無比と稱す、而して地中海の中部に位せる、マルタ島と共に、此地は實にイギリス國の所轄なりとす。

第十三節。ポルトガルⁱ Portugal

スペインの西に在りて、アイベリア半島の一小部をなし、ヨーロッパの極西に位す、西及び南は大西洋に面し、東及び北はスペインに接す、面積五千七千方里なり。

地勢。アイベリア半島なる一大高原の西端を占め、沿岸殊に河流の口には平地少からず、沿岸出入多からず。

水系。ツロ河及びテীগス河はスペインより來り、前者は西流して海に入る、其河口にオポルト² Oporto 港あり、後者は

2. Oporto
Porto

1. Portugal
Portugal

(ヨーロッパ) ポルトガル

Oporto

(七十九)

西南流して海に入る、其河口はリスボンの三角江をなす、二河共に下流は舟楫を通ず、

氣候。國の東境を除くの外、凡て大西洋水の影響を受け、氣候溫和にして雨量多し。

住民。人口五百餘萬人種は略ぼスペインに同じく、アラビア人及び黒人の血統を混ぜ、人民の性質溫良にして歌舞を好み、スペイン人を忌む、身體短小にして肥満す、其農夫は勤儉の性質に富む、宗教はスペインに同じ、教育は未だ完全ならず。

政治。立憲王國にして、兵備は微弱なり、本邦條約國の一なり。

産業。重要な産業を農業と爲す、其産額の最も多きは穀類なれども、最も價值あるものは葡萄酒なり、製造の業は未だ盛大ならず。

地方誌。

リスボン。テージス河口に跨り、ポルチュガルの首府なり、其港良好にして、ヨーロッパ諸國の全艦體を容るゝも尙餘りありと云ふ。

オポルト。2 ツーロ河口に位し、此國第二の都會にして貿易繁盛なり。

此國の領地は、アジアに於ては香港の西なる澳門、アフリカに於てはギニア³の一部等を始めとし、面積十三萬方里

(ローソン) ³ギニア

1. Lissabon
Lisbonne

2. Oporto
Porto

3. Guinea
Guinée

に達す。

附言 スペイン及びポルチユガルの二國は、舊時探檢及び商業を以て世界に雄視し、當時は領地極めて廣大なりしも、近時は全く衰微し、世界の航海權は、主としてイギリス人の手に移れり。

第十四節。イタリー。

Italy

ヨーロッパの南部に突出せる中央の大半島なり、北はフランス、スヰツツル及びオーストリアに接し、東はアドリアチック海に濱し、南西は地中海に濱す、面積凡そ二萬方里あり。

地勢。地形長靴に似たる半島にして其爪先及び前脛に

Italien
Italie

1. Apennin
Apennins

2. Vesuv
Vésuve

3. Aetna
Etna

4. Stromboli
Stromboli.

5. Genna
Gènes

巨大なる島を控ゆ、國の北部にはアルプス山系半圓形に走りて其境を限り、これより分派せる支脈連亘して國の中部を貫通す、アペニン¹山脉これなり、地勢斯の如くなるが故に、自ら大陸部、半島部及島嶼部の三に分る、島嶼部のイタリーはシシリイ、サルデニアの二大島及び其他附近の小島を總稱す、何れも山岳多し、イタリーは頗る火山に富み、地震亦多し、就中ネイブルス府の東に在るヴェスヴァイアス²の大火山、シシリイ島の東邊に聳ゆるエトナ³山、及び北に於けるストロンボリ⁴の小島最も名あり。

沿岸。東北部は低平なるも、南部及び西部は絶壁多し、今海岸の屈曲を見るに、西北端にはジェノア⁵灣あり、南方に

Apennine

Stromboli

Vesuvius

Etna

Genoa

(六十三)

- 1. Elba
Elbe
- 2. Tyrrhenisches
Tyrrhénienne
- 3. Messina
Messine
- 4. Ionisches
Ionienne
- 5. Tarent
Tarent
- 6. Adriatisches
Adriatique
- 7. Venedig
Venise

はフランスに屬する名高きユルシカ島を控へ、ユルシカ島とイタリーとの間には、エルバ^{Elba}島あり、ナポレオンの故跡を以て聞ゆ、これより以南チレニア^{Tyrhenian}海岸一帯は小灣頗る多く、其中部にネイブルスの良港あり、シシリイ島との間をメツシナ^{Messina}海峡と云ふ、シシリイ島の東岸、及びイタリー半島の南岸は、アイオニアン^{Ionian}海の沿岸にして、長靴の附に當る大灣を、タラント^{Taranto}灣と云ふ。

アドリアチック^{Adriatic}海の沿岸は頗る屈曲に乏しく、北部は卑濕にして澤湖多し、海の北岸をヴェニス^{Venice}灣とふ。

水系。地勢狭長なるを以て河流の大なるものなし、ポー及びタイパーの二流稍大なりとす、ポー河は急流なるを以

て舟運の便に乏しく、タイパー河は西南一部の水を合せ、ローマ府を過ぎ海に入る、下流は舟楫を通ず。

氣候。イタリーは北緯三十八度より四十六度の間にあり、るを以て各種の氣候を有せり、大陸部のイタリーは大陸的氣候を有し、半島部のイタリーは概して乾燥溫暖にして氣候劇變なし、ヨーロッパ人がイタリーの氣候を愛するは、即ちこの部なり、島嶼部のイタリーは殆んど半熱帯の氣候を有し、唯海風によりて暑熱を和ぐのみ。

住民。人口凡そ三千一百万、人民は多く舊教を奉ず、高等教育は頗る發達の緒に就き、初等教育は未だ普及せざるも、政府大に教育に心を注げるを以て、遠からずして其面目を

一新ずるに至るべし。

國人は古より詩歌音楽を好み、繪畫彫刻の術に長じたりければ、従てヨーロッパの美術國として、其名今尙高く、西洋各國の技術家にして此國を崇拜し、此國に心酔せざるなし。

イタリイは氣候の溫和、火山の饒多、風光の明媚、美術の卓絶、蠶業の盛大に於て本邦に相似たり、而して古代に盛大に、近世に又勃興して、ヨーロッパ六大強國の中に數へられ、特に俄に強大なる海軍を有するに至りたる如き點に於ても、亦我國勢と相似たる所あり、國人往時は本國を愛して、外國に移住するを好まざりしと云ふ。

政治。 立憲王國にして議院は上下兩院よりなる、海軍は

強勢にして世界の第五位を占む、本邦條約國の一なり。

産業。 鑛物は石炭及び鐵に極めて乏しと雖ども、硫黃及

び大理石は最も名あり。

人民は大抵農を業とし、穀物、葡萄酒及び橄欖は主なる物産なり、養蠶は北部に盛にして、絹はイタリイ國産の一なり、工業は未だ盛大なりと云ふを得ず、牧畜の業は北部に盛にして、水産は珊瑚を以て名あるも産額は少なし。

イタリイは海岸線の屈曲に富み、良港を有し、島嶼の大なるものありて、地中海に於て好位置を占む、又ヨーロッパに於て商工業の最も盛なる諸國と相接し、三大隧道はアルプス山を通じてフランス、オーストリア及び西部スヰツツル

と直接に貿易することを得べし。
交通。交通は海運至便の地でありて、世界航通の船路に當れり、又鐵道は殆んど一萬哩に達し、三個の隧道によりてアルプスを横斷す。

地方誌

ローマ¹ 首府ローマは人口四十六萬、タイバー河畔に跨り、パリーより三十五時間にして達するを得べし、嘗てローマ大帝國の首府たりし所にて、現今世界美術の淵藪なり、セント、ピートルの大寺、及びヴァチカン²の大宮殿等、宏大なる建築少からず。

ジェノア³ ジェノア灣頭に位し、貿易繁盛なり、コロンプ
Genoa Columbus

1. Rom
Rome

2. Vatican
Vatican
3. Genua
Gènes

4. Colombus
Colomb

1. Livourno
Livourne
2. Neapel
Naples

3. Pompeji
Pompei
4. Palermo
Palerme

5. Messina
Messine
6. Venedig
Venise

ス⁴の生地を以て名あり。

レグホルン¹ ジェノアの南東に位し、イタリー第三の港なり、北東にロッサあり、斜塔を以て著はる。

ネイプルス² 東はヴェスヴィアスの大火山に對し、ネイ
Naples

プルス灣頭に位し、風光明媚、氣候溫和なり、人口五十三萬、イタリー第一の大都なり、近傍のポンペイ³には嘗て發掘したる昔時の遺跡ありて、亦一奇觀なり。

パレルモ⁴ シシリ島の北西隅に近く位し、メッシナ⁵
Palermo Messina

は同島の北東隅に位す。

ヴェニス⁶ ヴェニス灣にある都府にして、市街は一大澤
Venice

湖中に位し、七十二の島嶼に跨り、長橋を以て大陸に連る、全

市は恰も水上に浮べる如き觀あり、昔時は貿易商業の一大中心として名高かりしが、其後非常に衰頽し、近時スエズ運河開通によりて、又頗る繁盛を見るに至れり。

ブリンザシー¹ イタリア¹南東隅に近き一要港にして、ヨーロッパより、印度及びアフリカに至る要衝に當り、現今世界の交通上有名なる港なり。

ミラン² セントゴードの大隧道を通ずる鐵道によりてヨーロッパ中部と、イタリアとの貿易繁盛なり、人口四十六萬あり。

チエーリン³ モンセニの大隧道を通ずる鐵道によりて、ヨーロッパ西部とイタリアとの貿易繁盛なる所なり。

1. Brindisi
Brindisi

2. Mailand
Milan

3. Turin
Turin

1. Bologna
Bologna
2. Florenz
Florence

3. Balkan
Balkan

ボローナ¹ ミランの南東にあり、此府の大學はヨーロッパ中最古のものにして、八百年以上を経たり。
フロレンス² ローマの北西にあり、美術の淵藪として名を知らる。

第十五節。バルカン³半島

バルカン半島は、ヨーロッパの南部三半島中、最東にあるものなり、三面海を繞らし、北方はダニュープ河の本支流及びカーパシアン山脉の一部を以て界を限り、南方に至るに従ひ益々半島的性質を顯はし、終に其西南に於て、無数の島嶼を現出す。

地勢。東北部は平原低地多く、西南部は山多し、蓋しバル

- 1. Kreta
Crète
- 2. Candia
Candie

- 3. Euboea
Eubée
- 4. Kykladen
Cyclades

- 5. Sporaden
Sporades
- 6. Arohipelag
Archipel

- 7. Pruth
Pruth

カン半島の地は地勢錯雜して山脉の方向も一定せざるこ
と猶其邦國の數多あるが如し、其山脉の稍大なるものは、中
央に當り東西に走れるバルカン山脉なり。

岬角の突出、港灣の凹入、非常に多く海岸極めて長し、而し
て島嶼極めて多く、其大なる者にはクリート¹（一名カンヂ
ア²）及びユーピア³あり、又群島には西にアイオニアン群
島あり、東にサイクレイツ⁴及びスボレイツ⁵の二群島あ
り、此東方には數多の島嶼あるにより稱して多島海⁶と云
ふ。

水系。黒海に注ぐものはダニユーブにして、河口に近く
ロシアとの界を劃せるブルート⁷河を合せ三角洲をなし

て海に注ぐ、此河は鐵門⁷に至るまで各國公共の航路たる規
定あり。

氣候。北方は大陸的氣候を呈し、南方に至るに従ひ、次第
に海洋の影響を受け、氣候溫和にして劇變せず、雨量も亦一
體に多し。

住民。人口は多からず、これ山岳の多きと、交通の不十分
なると、商工の業未だ發達せざるによる、人民の種類は、數
多あれども、其主なるものはスラーヴ種、ギリシヤ種、トルコ
種なり。

區劃。バルカン半島の政治上の區劃左の如し。

ボスニア¹及びヘルゼゴヴィナ²はもとトルコに屬せ

Bosnia
(ボスニア) バルカン半島

Herzegovina

(九十三)

- 1. Bosnien
Bosnie
- 2. Herzegovina
Herzégovine

- 1. Kreta
Crète
- 2. Candia
Candie

- 3. Euboea
Eubée
- 4. Kyoladen
Cyclades

- 5. Sporaden
Sporades
- 6. Archipelag
Archipel

- 7. Pruth
Pruth

カン半島の地は地勢錯雜して山脉の方向も一定せざること猶其邦國の數多あるが如し、其山脉の稍大なるものは、中央に當り東西に走れるバルカン山脉なり。

岬角の突出、港灣の凹入、非常に多く海岸極めて長し、而して島嶼極めて多く、其大なる者にはクリート¹（一名カンザア²）及びユーピア³あり、又群島には西にアイオニアン群島あり、東にサイクレイツ⁴及びスポレイツ⁵の二群島あり、此東方には數多の島嶼あるにより稱して多島海⁶と云ふ。

水系。黒海に注ぐものはダニユーアにして、河口に近くロシアとの界を劃せるブルート⁷河を合せ三角洲をなし

- 1. Bosnien
Bosnie
- 2. Herzegovina
Herzégovine

て海に注ぐ、此河は鐵門⁸に至るまで各國公共の航路たる規定あり。

氣候。北方は大陸的氣候を呈し、南方に至るに従ひ、次第に海洋の影響を受け、氣候溫和にして劇變せず、雨量も亦一體に多し。

住民。人口は多からず、これ山岳の多きと、交通の不十分なる、商工の業未だ發達せざるによる、人民の種類は數多あれども、其主なるものはスラーヴ種、ギリシヤ種、トルコ種なり。

區劃。バルカン半島の政治上の區劃左の如し。

ボスニア¹及びヘルゼゴヴィナ²はもとトルコに屬せ

Bosnia

(ボスニア)

Herzegovina

ヘルゼゴヴィナ

(九十三)

- 1. Montenegro Monténégro
- 2. Serbien Serbie
- 3. Belgrad Belgrade
- 4. Rumänien Roumanie
- 5. Bukarest Bucarest
- 6. Bulgarien Bulgarie
- 7. Rumelien Roumélie
- 8. Sofia Sofia

しが、今はオーストリアハンガリーの一部をなす。
 モンテネグロ¹は、ボスニアの南にある小侯國なり。
 セルヴィア²は、ボスニアの東にある小王國なり、首府
 をベルグレイド³と云ふ。
 ルーマニア⁴は、バルカン半島の東北隅を占むる一王
 國にして、ダニユーフ河國の南境及び東部を流る、産業は農
 を主とす、鑛産も亦漸次多額となれり、首府をブハレスト⁵
 と云ふ、大學の設けあり。

ブルガリア⁶は、トルコの附屬國にして、其内治は全く
 獨立の侯國なり、ブルガリア本部及び南部ブルガリア(東ル
 ーメリア)⁷の二部に分、首府をソフィア⁸と云ふ。
 Roumelia Sofia

- 1. Türkei Turquie
- 2. Ottoman Ottoman

トルコ¹は、一にオトマン²帝國と稱す、第十七世
 紀に於ては強盛なる一大帝國なりしが、現今僅かにバルガ
 ン半島の一部を有するのみ、面積一萬一千方里、人口凡そ六
 百萬、人種の數頗る多く、トルコ種、ギリシヤ種を主とす、概ね
 回教を奉ず、教育は宗教にこれを一任す。

帝號をサルタン³と云ふ、回教の經典に背馳せざる限り
 は、無限の權力を有すること、ペルシヤの王に似たり、穀物、葡
 萄及び蠶絲の産出盛にして、輸出品の第一に位し、鐵道及び
 電線も近來非常に進歩せり。

主要なる都府をコンスタンチノール、サロニカ、アドリ
 アノールとす、コンスタンチノール⁴は首府にして、人口
 Constantinople

(ヨーロッパ) オスマン帝國

- 1. Adrianopel
Andrinople
- 2. Salonika
Salonika

八十七萬ボスフォラス海峽に臨み、黒海の口を扼す、市の北は金角港深く灣入し、廣大なる長泊地なれば、船舶出入夥しく、市街繁盛なれども、頗る不潔を極む。

アドリアノール¹は、コンスタンチノールの西北に

Adrianople

當る、嘗て此國の首府たりしことあり、サロニカ²は、ヨロ

Salonika

ツバよりエジプトに至る要港なり。

ギリシヤ³バルカン半島の南端に位する小半島王國

Greece

にして、舊時はヨーロッパ先進國の第一を占め、文學技藝の淵藪なり、其後久しくトルコの領地たりしが、諸強國の力によりて、遂に獨立するを得たり、而して近來又トルコと戦を交へ、一敗殆んど立つこと能はざるに至れり、面積四千餘方

- 1. Athen
Athènes
- 2. Korinth
Corinthe

里、人口二百四十萬、ギリシヤ種に屬し、ギリシヤ教を奉ず、教育は未だ普及せず、首府アゼンヌス¹には大學の設けあり。

Athens

立憲王國にして、議會は一院より成る、物産は乾葡萄及び諸種の鑛物を主とす、鐵道、電線は漸次發達し、又コリンヌ²

Corinth

地峽を通ずる運河ありて、交通稍便なり。

第五章。アフリカ。

Africa

第一節。總論。

位置。 東半球の西南に位し、東はスエズの運河を含める地峽及び紅海を以て、アジアに接し、印度洋を隔て、遠くオーストラリアに對す、西は大西洋を隔て、南アメリカに向ひ、北は地中海を挟みて、ヨーロッパに接す。

廣袤。 面積は凡そ二百萬方里にして、ヨーロッパに三倍し、アジアの七割に當る。

特性。 アフリカは一に暗黒大陸と稱す、これ此大陸の世に知らるゝこと少きによる、蓋しサハラの大沙漠或は赤

道近傍の大森林により、交通探險に不便なるが故なり。

熱帯の大陸なること、平均最も高きこと、最も世に知られざること、然かも尙歴史上に於ては、最古の記録を有すること、其形狀頗る簡單なること、其他氣候及び人民等各種の點に於て、此大陸は舊大陸の他の大陸と著しき差異あり。

南北大陸の反對點。 今地球上の六大陸を南北に分つときは、兩者の間著しき差異あるを認むべし、北の三大陸は互に相接し、南の三大陸は頗る廣き大洋を中に挟んで遠く相隔離せり。

北の三大陸は海岸線頗る長く、港灣深く陸地に侵入し、陸地長く海中に突出し、群島頗る夥多なり、南の三大陸は其海

岸線一様短少にして、大洋の陸地に侵入すること少く、島嶼も至て少し。

アフリカ及びヨーロッパの比較。アフリカ及びヨ

ロッパ二大陸の相反對せる諸點を列擧すれば左の如し。

アフリカ。

ヨーロッパ。

一、アフリカの大部は熱帯

一、ヨーロッパの大部は温帯にあり。

二、形状簡單にして、一大團

二、不規則にして、凸凹出入塊をなす。

塊をなす。

多し。

三、枝なき幹の如し。

三、西部に枝多し。

四、比較上海岸線最も短し。

四、比較上海岸線最も長し。

五、島嶼頗る少し

五、島嶼頗る多し。

六、河流頗る多きも、舟航に

六、河流頗る多く、皆舟航す

適せず。

べし。

七、二大沙漠あり。

七、沙漠なし。

八、二大内地灌域を有せり。

八、内地灌域極めて少し。

九、其山脈は海岸に沿ふて

九、其山脈は大陸の殆んど

走る。

中部を走る。

十、其氣候は概ね熱帶性な

十、其氣候は概ね頗る温和

なり。

なり。

沿岸。海岸は屈曲少なく、殆んど三角形を呈せり、北方地

中海の岸はシドラ灣の如き灣入なきにあらずと雖ども大

Sydra Sidre

Sidra

(アフリカ) 地圖

(百一)

- 1. Nadel Aiguilles
- 2. Azoren Azores
- 3. Kanarien Canaries
- 4. Guinea Guinée
- 5. Madagascar Madagascar
- 6. Mozambique Mozambique
- 7. Sokotra Sokotra
- 8. Guardafui Guardafui

抵斷崖絶壁にして船舶の碇泊に苦む、南方は陸地次第に狭長となり、アガルハス¹岬は其極南に位し、印度洋太西洋の水を分たんとす、西方太西洋の岸は、アゾールス²群島、カナリ³群島等の島嶼散布し、ギニア⁴灣深く入る而して東方印度洋の岸は、マダガスカル⁵島、モザンビック⁶海峽を隔て、大陸と平行し、北方イギリス領のソコトラ⁷島に向ふ、ソコトラ島はガルダフイ⁸岬と相對す、其北面は印度洋の水北に入りて、バベルマンデフの海峽となり、紅海となり、スエズ運河となる。

地勢。其外形既に一樣にして、内地も亦然り、一言以て之を掩へば、實に高原大陸と稱すべし、其大山脈は海岸に沿ふて走る。

- 1. Atlas Atlas
- 2. Kong Kong
- 3. Kilima Ndscharo Kilimandjaro
- 4. Kenia Kenia
- 5. Kalahari Kalahari
- 6. Tsad Tchad

山脈 山脈の主要なるものには、北にアトラス¹山脈あり、西にコン²山脈あり、大陸中最高の峯をキリマンジャロ³(一萬九千七百尺)及びケニア⁴(一萬九千尺)の二峰となす、共に東方に屹立す。

原野及び沙漠。重なる原野は皆高地にして、サハラ及びカラハリ⁵の沙漠頗る著名なり、サハラは世界第一の沙漠にして、南北凡そ四百里、東西千二百里、面積凡そ本邦に十五倍せり。

水系。内地灌域。アフリカには南北に二大内地灌域あり、サハラ及びカラハリこれなり、サハラにはチャッド湖

アフリカ 地理

Chad (湖)

- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|-----------------------|-------------------|
| 7. Tanganjika
Tanganyika | 5. Victoria Njansa
Victoria Nyanza | 3. Nigir
Niger | 1. Nil
Nīl |
| | 6. Njassa
Nyassa | 4. Sambesi
Zambèze | 2. Kongo
Congo |

ありて、數多の河流これに注ぐ。

沿海灌域。海に注げるアフリカの四大河を、ナイル^{Nile} 1

コンゴ^{Congo} 2、ニジエル^{Niger} 3、及びサンベシ^{Zambesi} 4と爲す、コンゴ1は最

も大にして大西洋に注ぎ、ナイルは最も長くして地中海に注ぎ、ニジエルはギニア灣に注ぎ、サンベシは印度洋に注ぐ。

湖沼。アフリカは大湖の多きこと、北アメリカに次ぐ、ヴ

イクトリア、ニアンザ^{Nyassa} 5、ニヤツサ^{Tanganyika} 6、タンガニカ^{Tanganyika} 7の三湖

最も大なるものなり。

氣候。アフリカは多く熱帯中に横はりて、乾燥酷熱なり、

これ港灣の出入、半島の突出少きと、海岸に沿うて走れる山脉は、濕風を遮るとによる、故にアフリカの氣候は多く大陸

1. Hottentot
Hottentot
2. Buschmann
Boschiman

的にして、サハラ沙漠は地球上最熱の所なり、本洲の西岸は南方より寒流來るが爲めに溫度を減ず、其ギニア灣は西に向へるギニア海流の發源地なり、而して東岸は印度洋の赤道洋流本陸に衝突し、モザンビック海流となりて南方に向ふが故に、大に溫度を増す。

住民。人口凡ソ二億あり、其人種は非常に多く、大別して

三となす、土人、舊移住民及び新移住民これなり、土人は南部

及び西南部に住する(ホツテントット^{Hottentot} 1、及び(ブツシユメン^{Bushman} 2

の二族を主とし、舊移住民は(一)舊エジプト人種、(二)アラビア及びアピシニア人などを主なるものとし、新移住民はヨーロッパ諸國の人に係る。

宗教。回教の勢力頗る強く、南部及び西南海岸の人民は皆數多の拜物教を奉じ、喜望峰殖民地及びオランダ殖民地に於ては基督新教を奉ず。

言語。言語の數も非常に多けれども、其最も行はるゝはアラビア語なり。

發見。ナイル河邊は、古昔より人文最も開けたる地方なれども、アフリカは現今尙不明の大陸に屬す、最も重要なる探險はリヴィングストーン¹及びスタンレー²二氏の爲せるものこれなり。

區割。アフリカには真正なる獨立國なく、ヨーロッパ諸國の保護國又は殖民地なり、即ちイギリスは喜望峰殖民地

- 1. Livingstone
Livingstone
- 2. Stanley
Stanley

其他數多の殖民地を有し、又エジプトの實權は此國の掌中に在り、フランスはアルジェリアを始め數多の領地あり、ドイツ、イタリーの領地も少からず、トルコはエジプトを領すれども、其實權行はれず、ベルギー國又アフリカに注目し、彼のコンゴ自由國の君は即ちベルギー王なりとす。

アフリカを分て(一)エジプト、(二)ヌビア及び東部スーダン、(三)アビシニア、(四)バルバリー地方、(五)東部アフリカ、(六)西部アフリカ、(七)南部アフリカ、(八)島嶼の八部とす。

産業。アフリカの一部にはサハラ沙漠の如き不毛の地ありと雖ども、其他の所には天産少からず、唯氣候の不良と交通の不便とにより、未だ十分開發の緒に就かざるのみ、エ

ジプトの綿、砂糖、南部アフリカの羊毛、金及び金剛石、及びバルパリー地方の果樹は最も名あり、内地には珍奇なる大木、森林をなし、又た象、河馬、犀、鱔魚の如き巨大なる動物あり、河馬はアフリカの特産なり、虎、熊はこれを發見せず、ゴリラ、猩々の如き四手獸の大なるものは、西部アフリカにこれを見る。

交通。 エジプト、アルジェリア、ナタール及び喜望峰殖民地を除くの外、交通至て不便なり、内地に到るの道路未だこれなく、其河川は概ね急流にして、特に河口に激湍瀑布あり、多くは海より入航する能はず、又鐵道の敷設も、前記の四地を除くの外極めて稀なり。

Aegypten
Égypte

第二節。 アフリカ邦土誌。

エジプト。 エジプトはナイル河口及び其下流に沿へる國にして、沙漠は國の兩側に横はる、ナイルの三角洲は國の北部をなす、此國の面積は廣大なれども、住居に適する所は非常に狭し。

エジプトの位置たる世界の二大商業路、即ちアジア、アフリカ間の陸路、及び大西洋、地中海、印度洋間の水路の交叉する所にあり、加之スエズ運河開通以來、エジプトはアメリカ、オーストラリア間の中央に在りて、商業上大に好地位を占むるに至れり。

ナイル河の灌漑により農産に乏しからず、輸出品の主要

なるものを棉花及び砂糖と爲す、鐵道、ナイル河及びスエズ運河によりて交通至便なり。

スエズ運河はフランスの大土木師レセップ^{Lesseps}1氏の計畫

に成れるものにして、明治二年に開通したり、ポートセツド^{Port Said}

2より、スエズ港まで八十七哩あり、(此中六十六哩を實際の運河とす)。

エジプトの首府をカイロ^{Cairo}3と云ふ、ナイル河の右岸に

立つ、アフリカ第一の大都なり、此府は又嘗てアラビア文學

の中心たりしなり、河の左岸にギゼ^{Gizeh}4府あり、カイロと

相對す、最大なる金字塔三個、此近傍に屹峙せり、アレキサン

ドリア^{Alexandria}5はナイル三角洲の北隅に位し、貿易繁盛なる要港

- 1. Lesseps
Lesseps
- 2. Port Said
Port Saïd

- 3. Kairo
Le Caire

- 4. Gise
Gizeh
- 5. Alexandria
Alexandrie

なり、ポートセツドはスエズ河運の北端に位し、通航の船舶必ず此所に寄港す。

スエズ運河の南端にスエズあり、スエズとポートセツド

との間にイスマイリア^{Ismailia}1あり。

ヌビア^{Nubia}2及び東部スーダン 此地方はエジプトの南に

あり。

アビシニア^{Abyssinia}3ヌビアの東南に隣り、山岳最も多き高原の國にして、往々アフリカのスヰツルと稱せらる。

バルバリー^{Barbary}4地方。アフリカの北方、地中海に濱する

四國の總稱にして、モロッコ^{Marocco}5アルジェリア^{Algeria}6チュニス^{Tunis}7

トリポリ^{Tripoli}8より成る、アトラス山脉はこれを貫て走る。ア

(アフリカ) 邦土誌

- 1. Ismailia
Ismailia
- 2. Nubien
Nubie
- 3. Abessinien
Abyssinie
- 4. Berberei
Barbaresques
- 5. Marokko
Maroc
- 6. Algerien
Algérie
- 7. Tunis
Tunisie
- 8. Tripoli
Tripoli

ルジェリアはフランスの領地中最も大なるものにして、又最も重要なるものなり、地味頗る豊饒にして、物産に富む、鐵道、電線も漸次延長せり。

スーダン。¹ サハラSaharaの南に横はり、大西洋の岸より、アビシニアに至る所を、スーダンと稱す、未知の謂なり。

サハラ。² サハラは世界第一の沙漠にして、大西洋の岸より、紅海に亘りて、アフリカを南北に横斷す、其西部は全く不毛の沙漠なるが故に、往々土人と隊商を見るの外、野獸野禽絶えて其跡なく、實に寂寞無寥の境なれども、東部はこれに異なり、往々泉池³ありて、人類の生活に堪へ、又耕作に適する地ありと云ふ。

- 1. Sudan
Soudan
- 2. Sahara
Sahara

- 3. Oasis
Oasis

Kongo
Congo

東部アフリカ。ドイツ及びポルチユガルの保護國に屬す、東海岸に於ける狹長なる地方なり。

南部アフリカ。此地方は南緯二十二度より三十五度の間に横はり、イギリス、オランダ兩國の有に歸す、主要なるイギリスの殖民地二あり、喜望峯殖民地及びナタールこれなり、又コンゴト、フランスヴァール及びオレンジ自由國はオランダ人の建てたる共和國なり。

コンゴ自由國。此國は萬國アフリカ會の上に立ち、ベルギー王これが主なり、其國は殆んどコンゴト河の流域全部を包含す、コンゴト河は下流に急流あれども、四百里の間舟運の利あり、探險者は大抵これを溯て内部に入る、其國

(アフリカ) 邦土誌

頗る富饒、人口二千七百萬あり、道路修築の運に向ひ、鐵道の開通も近きにあらんとす。

喜望峯殖民地。¹は海岸に低地あり、後ろは階段をなして次第に高し、岬角の主要なるものを喜望峰²及びアガル

Cape Colony

ハス岬とす、アガルハス岬はアフリカ³の最南點なり。

Cape of Good Hope

住民多くは「カツファイル」³及び「ホツテントット」の二種とす、内地の高原は牧畜に適し、牧羊は實に最も重要なる産業なりとす、主なる貿易品を羊毛及び金剛石とす、都邑近傍の道路頗る良好なり、鐵道の延長凡そ二千五百哩あり、首府を

Kaffir

ケイプタウン⁴と云ふ。

ケイプタウン⁴と云ふ。
ナタール⁵。ナタール殖民地は喜望峯の東北にあり、地

Cape Town

Natal

4. Kapstadt
Le Cap

5. Natal
Natal

3. Kaffer
Cafre

1. Kapland
Colonie du Cap

2. Kap der guten Hoffnung
Cap de Bonne-Esperance

味は頗る豊饒なり、産業の重なるものを牧羊と爲す、氣候炎熱にして亦多量の砂糖を産す。

オーレンジ¹自由國。此國はナタールの西にある小

Orange

國なり、重なる産業を牧羊と爲す。

トランスヴァール²。此國は一に南アフリカ共和國と

Transvaal

云ふ、オーレンジ自由國の北にあり、其名は獨立國なれども、

實際は英國の制肘を受く、地味氣候共に農業、牧畜に適せり、

此國金を産すること頗る多く、又最長の石炭、多量の鐵を出

す、方今國の東邊に鐵道開通せり。

西部アフリカ。サハラ南端より南緯十八度の間にあ

る地方を、西部アフリカと曰ふ、其中にセネガムピア³上下

Senegambia

(アフリカ) 邦土誌

(百十五)

3. Senegambien
Senegambie

1. Oranje
Orange

2. Transval
Transvaal

兩ギニアを含む、ヨーロッパ諸國皆此海岸に於て貿易場を設け、尙ほ進で其驥足を内地に展べんとせり。

アフリカの諸島。アフリカ海岸の周圍に横れる島嶼は、皆大陸と地理上の關係甚だしく、或は無きものあり、又此等諸島嶼は商業殆んど無しと謂ふも可なり、而して島嶼多くはヨーロッパ諸國に隸屬す、大西洋にあるものは皆火山的性質のものなり、今其最も重要なるものを擧ぐれば、左の如し。

Azoren
Açores

スペイン領にカナリー、ポルチユガル領にアゾールス、マ
デイラ、イギリス領にセントヘレナ、モーリシアス等あり、
マダガスカル島はフランス領なり、モーリシアス及びマ

Azores

- 1. Kanarien
Canaries
- 2. Ferro
Fer

- 3. Madeira
Madère
- 4. St. Helena
Ste. Hélène

- 5. Mauritius
Maurice
- 6. Madagascar
Madagascar

ダガスカル之二島は東方にあり。

カナリー 1 諸島。カナリー諸島の中最も西に在る小島をフェロー 2 島と爲す、此島は東西兩半球の分割點なり。

マデイラ 3 島には大西洋航海の汽船此に碇泊す。
セントヘレナ 4 はアフリカの南西に當り、ナポレオン流謫の地を以て著はる、又イギリス國海軍の根據地なり。

モーリシアス 5 はマダガスカルの東にありて、亦イギリス國海軍の根據地なり。

マダガスカル 6 アフリカ島嶼の最大なるものにして

(アゾール) 邦土誌

て、長さ殆んど四百餘里あり、東側は印度洋に面し、南東貿易風を受くるを以て、降雨最も多く、隨て土地頗る肥沃なり、人民専ら牧畜、農業を勉め、其森林は良材に富む、現今フランスに屬す。

第六章。

アメリカ。

America

第一節。總論。

位置境界。西大陸はアメリカにして、新世界と稱す、此大陸は太平、太西兩洋を限り、北は北氷洋に臨み、南は南氷洋に逼る、南北凡そ四千里に亘り、其幅はこれに比して頗る狭し、面積凡そ二百八十萬方里にして、ヨーロッパ、アフリカを合したるものより大なり、西大陸と東大陸との間には著しき差異あり、左の如し。

西大陸。

東大陸。

一、南北長し。

一、東西長し。

Amerika
Amérique

- 二、主なる山脉は北より南に亘る。
- 三、平原の大陸なり。
- 四、大なる沙漠なし。
- 五、前途有望なる土地なり。
- 二、主なる山脉は西より東に亘る。
- 三、高原の大陸なり。
- 四、大なる沙漠あり。
- 五、過去に開けたる土地なり。

第二節 南アメリカ總論。

南アメリカは新世界の南半部にして、殆んど熱帯に位し、又其大半は南東及び北東の貿易風を受くる好位置にあり、貿易風はアンデス山脉に遮られ、其東側に最多の降雨を生じ、西側には乾燥なる氣候を生ず、これによりて東側にはアマゾン、オリノコ、ラプラタの如き大河を涵養し、又アマゾン河の谷には世界最大の森林あり。

- 1. Andes
Andes
- 2. Hoorn
Horn
- 3. Aconcagua
Aconcagua
- 4. Cotopaxi
Cotopaxi
- 5. Chimborazo
Chimborazo
- 6. Titicaca
Titicaca

マゾン、オリノコ、ラプラタの如き大河を涵養し、又アマゾン河の谷には世界最大の森林あり。

地勢。 アンデス¹ 山脉は、ホルン² 岬よりパナマ地峽に至るまで、延長一千九百里に達し、地球上最長の大山脉なり、數多の火山其中に聳立す、南部には其最高峰アコンカグア³ 火山あり、高さ二萬二千四百餘尺、新世界第一の高山にして、又全世界最高の火山なり、北部にはコトパキシ⁴、チンボラソ⁵ 等あり、チ、カ、⁶ の高地は海面を抜くこと、凡そ一万五千尺の所に位す、中央大平原は、オリノコ河口よりラプラタ河口に連り、此大陸全面積の大部を占む、此一大平原中低き分水界ありて三部に分る。即ち一はオリノコ平原、二は

- | | | |
|------------------------|------------------------------|--------------------------|
| 5. Amazonen
Amazone | 3. Feuerland
Terre de Feu | 1. Magalhaes
Magellan |
| 6. Peru
Pérou | 4. Falkland
Falkland | 2. Marajo
Marajo |

アマゾン平原、三はラプラタ平原なり。
沿岸。海岸出入に乏しく、港灣多からずと雖ども、河口は開て大なる三角江をなす、アマゾン、ラプラタは其適例なり、大陸の南端をホルン岬と云ふ、北の地峽をパナマ地峽と云ふ、南にはマジエラン¹ 海峽あり、島の大なるもの、アマゾン河口にマジヨ² 南端に火地³ 其沖にフオークランド⁴ あり。

水系。南アメリカに主要なる河三あり、オリノコ、アマゾン及びラプラタこれなり、此三河は殆んど一河と見るを得べし。
アマゾン⁵ 河は源をペルー⁶ 國のアンデス山脉中に發

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 3. La Plata
la Plata | 1. Orinoco
Orénoque |
| 4. Parana
Parana | 2. Venezuela
Vénézuéla |

し、東流して大西洋に入る、河口は開きて一大三角江をなし、マジヨ¹ 島を始め、數多の島嶼、其中にあり、赤道は正に其河口を通過し、本河の位置、熱帯の多雨區域に當るを以て、水量最も多く、世界第一の大河とす、灌域四十二萬方里に亘り、本邦に十六倍す、長さは千六百餘里と稱す、河口の幅二十里あり、舟楫を通ずること本支流を通じて二萬里、其半は瀛船の航通に適す。

オリノコ¹ 河は源をヴェネジエ² の南東に發し、遂に東流して大三角洲をなし、海に入る、下流は大船を通ずべし、其支流も亦航通すべきもの多し。

ラプラタ³ 河はパラナ⁴ 及びウルガイの兩河にて生成
La Plata
(アメリカ)
Parana
(アメリカ)
(百二十三)

- 1. Brasilien
Brésil
- 2. St. Francisco
S. Francisco
- 3. Bolivia
Bolivie
- 4. Titicaca
Titicaca

せる一大三角江に外ならずパラナ河は源をブラジルの南部に發し、パラガイ河を合し、南流してビエノスアイレ^{Brasil}の北に於てウルガイ河を合せ、開て一大三角江をなす、三角江の海に開ける所は幅二十五里あり、舟運の利大なり。

此外ブラジルの東部にサンフランシスコ^{S. Francisco}河あり、大西洋に入る、湖水の著名なるものは、ヘル^{Titicaca}ー及びボリザイア^{Bolivia}の境にチ、カ、湖あり、海面を抜くこと一萬二千餘尺の所に位す。

アフリカ及び南アメリカの比較。兩大陸共に赤道に沿ふて其地位を占め、反對類似の點數多あり。

アフリカ。

— 南アメリカ。

一、海岸出入少し。

二、相交通するを得ざる大陸地なり。

三、湖沼頗る多く、皆頗る大なり。

四、舟航すべからざる河流、閉塞せる流域を有す。

五、コンゴ河は赤道に沿うて流る。

(アメリカ) 南アメリカ 地誌

一、南アメリカの海岸は稍出入多し。

二、河流縦横し、港灣の缺を補へり。

三、湖沼少く、皆小なり。

四、河流は舟航するを得べく、其流域は概ね相連續せり。

五、アマゾン河は赤道に沿うて流る。

(百二十五)

六、コンゴ、ナイル及びザンベシ河は各相離れて其水を大洋に送る。

六、數多の河流合して一のアマゾンとなり、多量の水を大洋に送る。

七、赤道の南北兩側に廣大なる森林を有す。

七、赤道の南北兩側に廣大なる森林を有す。

氣候。南アメリカは其大部熱帶中に位し、又北東、南東兩貿易風を受くるを以て、酷熱にして濕潤なり、但しアンデス山系に屬する高地は氣候溫和なり、又南緯三十度以南は、土地狹小にして、海洋の影響を受け、氣候頗る涼し、アンデス山系の西側をなせる、西岸一帶の狹小なる地域に於ては、非常に乾燥にして、往々無雨の地少からず、而して東岸は暖かな

るブラジル海流あるに反し、西岸は寒流來たるを以て、東岸は比較上西岸より溫暖なり。

物産。植物界の天産物は其種類頗る多し、造船に適するの樹木、幾那を得べきシンコナ樹、甘蔗、珈琲、其他熱帶及び溫帶の植物頗る多し、動物界の天産にありては、アジア、アフリカに於ける犀及び象を缺ぐと雖も、亞獅の如き猛獸あり、又巨蛇、鱈魚頗る多し、森林には獼猴の類多く、山中に「コンドル」鳥、礦物界の産は頗る富饒にして、特にボリヴァアのポトシ銀山の如きは最も名あり。

住民。人口は總計三千萬許なるべし、此中過半は土人にして、ヨーロッパ人種は三分の一を占むるに過ぎず、而して

Potosi
Potosi

スペイン人を多しとす、ブラジル國にはポルチユガル人多し。

區劃。南アメリカは夥多の邦土ありて、何れも共和國なり、但しギアナはイギリス、オランダ、フランス三國の殖民地となれり、又此大陸の南東にあるフォークランド島、及び南ジエオルジア¹島はイギリスの領地なり、西部に屬する諸邦はコロンビア、ベチジュエラ、エクアドル、ペルー、ボリヴィア、チリにして、東部に屬するものはアルジェンチーン、ウルガイ、ブラジル、ギアナ、フォークランド等とす。(註一)

第三節。南アメリカ邦土誌。

2. Colombia
Colombie

コロンビア² 南アメリカの最北に位する聯邦共和國を
Colombia

1. Georgien
Georgie

- 1. Colon
Colon
- 2. Bogota
Bogota
- 3. Venezuela
Vénézuéla
- 4. Llanos
Llanos
- 5. Caracas
Caracas

り。
地方により高度一様ならざるを以て、隨て氣候又種々なり、故に産物の種類に富む、パナマ鐵道は世界の交通上頗る重要にして、大西洋岸コロン¹より起り太平洋岸パナマに達す、ボゴタ²は國の首府にして海面より九千百尺の高所にあり。

ヴェネジュエラ。此國も亦一聯邦共和國にして、國の全部オリノコ河の流域に在り、其大半は「ラノス」³と稱する一大草原より成る、主なる産物を珈琲及び砂糖となす、首府を「カラカス」⁴と云ふ、ヴェネジュエラの東部と、イギリス領ギアナとの境界は紛議久しかりしが、近時漸く其決定を見

(アメリカ) 南アメリカ 總論

んとす。

エクアドル。

Ecuador

太平洋に臨み、赤道直下に在り、チンボラ

ラ

Cotopaxi

等の高峯は此國にあり。

主要の産業を農業となし、カカオの輸出頗る大なり、キ

ト³は國の首府にして、大學あり、海面を抜くこと九千五

百尺の高地にあるを以て、其地赤道直下に位すと雖ども、氣

候溫和なり。

ペルー⁴。

アンデス山系と、其東斜面及びアマゾン上流

Peru

域の大部とより成れる國なり、ペルーに於て最も價值ある

物産を硝石、鳥糞及び羊毛とす、首府リマ⁵は太平洋に接近

Lima

し、貿易繁盛なり、此國は本邦條約國の一なり。

1. Bolivia
Bolivia

2. Titicaca
Titicaca

3. Potosi
Potosi

4. Sucre
Sucre

5. Chile
Chile

6. Santiago
Santiago

7. Valparaiso
Valparaiso

ボリヴェイア¹。アンデス山間の高地及其東方斜面より

Bolivia

成る、人民の一半は土人なり、チチカカ²の高原は此國に在

Titicaca

り、農業、鑛業に³主要の産業にして、銀は全輸出額の三分の二

を占め、ポトシ³は主なる産地なり、首府をシュエクル⁴と云ふ。

Potosi

チリー⁵。緯度二十八度以上に跨れる狭長なる國にし

Chile

て南氷洋よりの寒流を受け、他の諸國に比して、氣候寒冷な

り、農業鑛業は主要なる産業なり、硝石は重なる輸出品なり、

チリーは、南アメリカ諸國中最も企業心に富める國にして

鐵道、電線も次第に發達せり。

サンチアゴ⁶は國の首府にして、豊饒なる高地に立ち、市

Santiago

街美麗なり、ヴァルパライソ⁷はサンチアゴの西北にある

Valparaiso

(アンデス)

南アメリカ

地圖

- | | | |
|---------------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 5. Buenos-Ayres
Buenos-Ayres | 3. Pampas
Pampas | 1. Aconcagua
Aconcagua |
| 6. Patagonien
Patagonie | 4. Patagonien
Patagonie | 2. Argentine
Argentine |

一大要港なり、アコンカグア¹峰はこれより東北に聳ゆ。アルジエンチーン²共和國。此國はアンデス山系の東斜面に横はれる共和諸國の聯合なり、殆んど平坦なる原野(パンパス)³より成り、其面積三十萬方里、人口四百萬あり、パタゴニア⁴の大半又此國に屬す、牧畜は此國唯一の産業にして、其羊毛産出の額はオーストラリアを除くの外第一とす。

此國は年を追ふて盛大に赴き、首府ビエノスアイレス⁵の如きは人口七十萬を有し、南アメリカ第一の都會にして、ラプラタ河口に臨む、此地よりヨーロッパに電線を通ず。パタゴニア⁶此地方は概ね荒涼たる沙漠なり、南にはマ

- | | | | |
|-------------------------|---------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 6. Parana
Parana | 4. Paraguay
Paraguay | 3. Montevideo
Montevideo | 1. Feuerland
Terre de Feu |
| 7. Asuncion
Asuncion | 5. Pilcomayo
Pilcomayo | | 2. Uruguay
Uruguay |

ジエラン海峡を隔て、火地(テラ、デル、フユエーゴ)¹あり、其土人は身體の長大なるを以て名あり、ウルガイ²。南アメリカの最小國にして、大西洋及びウルガイ河の間に横る、其南海岸は即ちラプラタ河口に臨む、此國は重に草原なるを以て、牧畜業最も盛なり、水運の便は至大にして、又鐵道、電線も次第に長きを加ふ、首府モンテビデオ³は主要の港なり。パラガイ⁴。南アメリカの小國にして、ピルコマヨ⁵及びパラナ⁶兩河の間に横はり、海に濱せず、パラガイ茶は主なる物産にして、南アメリカ諸國多くこれを用ゆ、アサンシオン⁷は此の國の首府なり。

- 1. Brasilien
Brésil
- 2. Selvas
Selvas

ブラジル I 共和國。其面積五十四萬方里、合衆國及びカナダに匹敵す、高地も少からざれども、アマゾン河流域の平原(セルヴァス)²亦廣大なり、氣候の種類も亦多し、人口千四百萬あり、人民多くは海岸又は大河の畔に住居し、重に黑人種なりとす、然れども亦アメリカ印度人、ポルチユガル人種も少からず。

ブラジルの植物は其種類と其數とに於て、蓋し世界第一なるべし、其大森林には染料、造船等に必要なる各種の樹木頗る多し、其他珈琲の如きは、總産出高の一半を占む、ブラジルは又頗る鑛物に富み、金剛石其他の寶石、金、水銀及び銅の産出甚だ多しとす。

- 1. Rio Janeiro
Rio Janeiro
- 2. Bahia
Bahia
- 3. Pernambuco
Pernambouc
- 4. Guayana
Guyane
- 5. Falkland
Falkland

ブラジルの外國貿易は年を追ひて盛大に趣けり、輸出品の主要なるものは珈琲にして、全輸出額の百分の六十八を占む、鐵道の延長八千哩に及ぶ、本邦條約國の一なり。首府をリオ、デ、ジャネーロ¹と云ふ、人口五十二萬、同名の灣に臨む、灣内は良好なる碇泊地なり、ブラジル國貿易の一半は此港に於て行はる、本邦公使館の設けあり、バヒア²及びペナンブー³の兩港東岸に位し、貿易繁盛なり。

ギアナ⁴はイギリス、フランス、オランダの三國これを分割所有し、林産に富み、又河流には魚類群集す。
フォークランド⁵島あり、イギリスの領地なり、近海は水産に富む。

第四節 北アメリカ總論。

北アメリカとは新世界の北部を稱し、パナマの地峽によりて、南アメリカに連続せり、今南北アメリカの地形上、相類似する點を擧ぐれば左の如し。

北アメリカ。

南アメリカ。

一、北アメリカは不規則なる三角形を爲せり。 一、南アメリカは正三角形を爲せり。

二、其西岸に高山脈あり、火山これを買き走る。 二、全上。

三、其東岸に平行して低山脈あり。 三、全上。

- 1. Mexico
Mexique
- 2. Karibische
Caribes

- 3. St. Lorenz
St. Laurent
- 4. Mississippi
Mississippi

四、北氷洋よりメキシコ

四、カリビアン海より

灣まで、大陸の中部は大なる平原なり。

部は大なる平原なり。

五、二大河は互に直角をなす、セントローレンス

五、二大河は互に直角をなす、アマゾン河は西より

河は西より東に流れ、

東に流れ、ラプラタ河は

シシッピ河は北より南に流る。

シシッピ河は北より南に流る。

北より南に流る。

北アメリカの面積は凡そ百五十萬方里にして、アジアの凡そ二分の一なり、此大陸の最も長き所一千八百里なり。

北アメリカは地勢上又邦制上、グリーンランド、イギリス

(アメリカ) 北アメリカ 總論

(百三十七)

- 1. Cordilleren
Cordillères
- 2. Felsen
Rocheuses
- 3. Alleghany
Alleghany
- 4. Hudson
Hudson

領北アメリカ、合衆國、中央アメリカ、西印度諸島の五部に分つ。
 地勢。西側は、高峻なる山嶺連亘せる高地にして、東側には海岸と並走せる低き山脉あり、此兩山脉の間には大なる平原ありて、北氷洋よりメキシコ灣に及ぶ、西方の大山脉は南北兩アメリカを縦貫するコーデラ^{Cordilleras} 1 山系の一部にして、ロッキ^{Rocky} 2 山系は之を組成する諸山脉中の最も主要なるものなり、東側の低き山脉をアレガニ^{Alleghany} 3 山脉とす、中央大平原地面の一半は、ハドソン^{Hudson} 4 灣及び北氷洋に向ひて、徐に傾斜し、他半は、メキシコ灣に向ひて徐に傾斜す。
 海岸。北アメリカの海岸は東側に長し、東岸にはバツフィン^{Baffin} 灣、ハドソン^{Hudson} 灣、セントローレンス^{St. Lawrence} 灣、メキシコ灣等あり、

- 1. Yucatan
Yucatan
- 2. Alaska
Alaska
- 3. Californien
Californie
- 4. Neu Fundland
Terre Neuve
- 5. Californien
Californie
- 6. Labrador
Labrador
- 7. Neu Schotland
Nouvelle Écosse
- 8. Florida
Floride

西側にカリフォルニア^{California} 5 灣を除くの外著しき大灣なし、東側にはラブラドル^{Labrador} 6 ノヴァスコシア^{Nova Scotia} 7 フロリダ^{Florida} 8 及びユカタン^{Yucatan} 1 の四大半島あれども、西側にはアラスカ^{Alaska} 2 及び下部カリフォルニア^{California} 3 の二半島あるのみ、又ニューファンドランド^{Newfoundland} 4 のレイニス^{Race} 5 岬、合衆國のハツテラス^{Hatteras} 6 岬、セイブル^{Sable} 7 岬等の主要なる岬は、皆東側にあり、要するに、東側は港灣、半島、岬に富み、海岸線隨て長し。
 北アメリカ海岸線の全長は一萬里にして、比較して云ふときはヨーロッパの半に當る。
 北アメリカの陸地は北方に擴がり、分裂せる數多の島嶼に終る、此邊一面を北アメリカの多島海と稱す、而して東北

- 11. Cuba
Cuba
- 12. Haïti
Haïti
- 9. Alëuten
Alëoutienne
- 10. Tehuantepec
Téhuantépec
- 7. Sable
Sable
- 8. Groenland
Groenland
- 5. Race
Race
- 6. Hatteras
Hatteras

にグリーンランド 8 の大島あり、西北には火山に富めるアリユーション 9 群島ありて、アジアに渡るの連鎖をなす。
 Aleutian
 又北アメリカの地は南方に縮小して、テハンテベック 10
 Tehuantepec
 地峽より、遂には南アメリカなるパナマの地峽に終る、パナマ地峽の幅最も狭き所は、僅かに十一里餘なるに過ぎず。
 北アメリカの地形は南方に縮小せりと雖ども、島嶼の多きことは亦稍北方に於ける關係と相似たり、即ち西印度諸島は南アメリカとの間に横はりて、中にカリビアン海を圍めり、キユバ 11 ハイチ 12 の二島最も大なり、如斯南北兩側に島嶼多きに比して東西兩岸には頗る少く、唯東岸のニエーフオンドランド、西岸のヴァンクラーヴァー 13 二島稍大なり。
 Vancouver

- 17. Saskatchewan
Saskatchewan
- 18. Yukon
Yukon
- 15. Mackenzie
Mackensie
- 16. St. Lorenz
St. Laurent
- 13. Vancouver
Vancouver
- 14. Mississippi
Mississippi

水系。 北アメリカの四大河は、
 15 セントローレンス 16 及びサスカチワン 17 にして
 St. Lawrence
 Saskatchewan
 共に中央の平原にあり、ミシシッピは南に、マッケンジーは北に、セントローレンス及びサスカチワンは東に流る、太平洋に注ぐものに、ユコン 18 及びコロンビア 19 の二河あり。
 Yukon
 Columbia
 湖沼。北アメリカには世界の最大湖水數多あるを以て、これを湖沼大陸と稱するものあり、此等の湖沼は三大河系、即ちマッケンジー、サスカチワン、及びセントローレンスに屬せり、其數無慮數百にして最も肝要なる湖は、シユーパー
 Superior
 オル 20 ミシガン 21 ヒューロン 22 イリー 23 及びオンタリオ
 Michigan
 Huron
 Erie
 Ontario
 24 これなり、後の五湖はこれを五大湖と稱し、多くは合衆國

(アメリカ) 北アメリカ 總論

及びカナダの間に横はる、其面積を合すれば、一萬五千方里に餘り、我本洲の面積に匹敵す。

氣候。北アメリカは北緯八十度より全十度に横はり、寒帯より熱帯に至るまで、各種の氣候を有せり、其特別なる状態を擧ぐれば、一、全緯度の地に於けるヨーロッパより寒し、二、北アメリカの中過半は大陸的の氣候を有せり、三、温度の變化は西部を除くの外極めて急激なり、四、温帯の中に於て西岸は東岸より暖かなり、蓋し西岸は暖かなる日本海流衝き來ると雖ども、東岸はメキシコ灣流の影響を受けず、且つ北方より寒流、冰山流れ來るが故なり、五、降雨は南に多くして北に赴くに從ひ減少し、又西に多くして、東に赴くに從ひ

- | | | |
|------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 23. Erie
Erie | 21. Michigan
Michigan | 19. Columbia
Colombia |
| 24. Ontario
Ontario | 22. Huron
Huron | 20. Oberer
Supérieur |

減少す。

産業。農産の巨大なること、他大陸これに及ぶものなし、就中穀物はカナダ及び合衆國に多く、甘蔗、煙草及び綿花は合衆國の南部に多し、又林産は中部に夥多にして、ユーラシア大陸の森林地方にも稀に見る所なり、畜産も亦盛なり、水産はベーリング海峽の近海、及びニューファンドランドの沖合に最も多し、礦産に至ては、何れの大陸も北アメリカに及ぶものなし、合衆國の炭田は世界中最も大なるものにして、面積三萬方里に餘る、鐵及び金、銀、銅の産も亦非常に多量なり。

斯の如く天産物に裕にして、特に鐵と石炭とに富み、且交

通至便なるを以て、産業の發達實に著しく、製造の業も非常に盛大にして、貿易も亦長足の進歩をなせり。

住民。人口凡そ九千萬ありて、其内凡そ七千萬は白人種なり、其他はアメリカ印度人種、黑人種及び混合種族なりとす。

宗教は基督新教最も多し、イギリス領北アメリカには舊教を奉ずるもの少からず、教育は甚だ盛にして特に應用を主眼とす。

交通。北アメリカは其北部を除くの外、交通概ね至便なり、ミシシッピの本支流、セントローレンス河、及び五大湖によりて水運の利頗る盛なり、又鐵道は益々其線路の延長

Columbus
Colomb

を來たし、現今大西洋に起りて太平洋に達せるもの四線あり、電信は主要なる都府を連結し、又大西洋を横斷して、ヨーロッパに通ぜり。

沿革。北アメリカは西曆紀元千四百九十二年、コロンブスの發見する所に係る、スペイン人は始めて此國を征服せんと企て、其後大部はイギリス國の管轄に歸せしが、千七百年代の後半に、其一部獨立を布告し、合衆國と稱せる聯邦を組織せり、メキシコも亦スペインの羈絆を脱して獨立したり、蓋し北アメリカにてイギリス語及びスペイン語を用ふる人民多きは、蓋し開國の歴史之れをして然らしむるなり。

第五節。北アメリカ邦土誌。

一、西印度諸島。

總論

位置。合衆國フロリダの南端セイブル¹岬より南アメ

Sable

リカ、オリノコ河の三角洲に至るまで、南北アメリカ間に横

はれる島嶼の總稱なり、其新大陸に對する關係は、恰も東印

度諸島の舊大陸に於けると相似たり、即ち共に熱帶の海上

に横はり、良港頗る多く、地味頗る肥沃なり、大別して三とな

す、大アンチルス²、小アンチルス、及びバハマ³群島これな

Antilles

Bahama

り。

地文地理。群島皆山多く、小アンチルス諸島は火山に富

む、全島を通して著しき河湖なし。

バハマ諸島の大部は温帯に横はり、其他は凡て熱帯中に横はる、概するに海軟風及び貿易風の影響を受けて、暑熱甚しからず。

人文地理。人口は凡そ三百萬許にして、黒人大部を占め、スペイン人これに次ぎ、スペイン語専ら行はる、物産に富み、砂糖及び煙草最も名あり、交通も次第に發達し、キューバ島には凡そ一千哩の鐵道あり、スペイン、イギリス、オランダ、デンマルクの諸國、此群島を分割して所有し、僅かにハイチ島のみ、二つの獨立共和國に分る。

地方誌。

(アメリカ)

北アメリカ 邦土誌

(百四十七)

北三島
北三島

1. Cuba
Cuba

2. Havana
Havana

3. Puerto Rico
Porto Rico

一、スペイン領¹。大アンチルス諸島の中、キューバ及びポルトリコ²の二島より成る。

キューバ。此島は面積我北海道より遙かに大なり、山脉地勢に従て走る、桃心木及び黒檀の産出多く、砂糖の輸出額亦非常なり、近來内亂起り、延ひてスペインと合衆國との戦争となりたるが爲め、世界砂糖の産額、一時著しく減少したる事あり、交通の機關は日を追ふて發達す、首府をハバナ¹ (二にハヴァンナ)と云ひ、府内の一寺院にコロンプスの遺物を納む。

ポルトリコ³ アンチルス諸島中、氣候最も順良なり。

一、イギリス領。バハマ諸島、大アンチルス諸島の中、ジ

1. Jamaica
Jamaique

2. Bahama
Bahama

3. Trinidad
la Trinilé

4. Barbados
Barbade

5. Bermuda
Bermudes

ヤマイカ¹ 及び小アンチルス諸島の大部よりなる。
Bahama² 諸島。フロリダ半島の東南に横はれる二十餘の珊瑚群島の總稱なり、西暦紀元一千四百九十二年、コロンプスの發見したる處にて、新世界中第一に知られたる地なり。

イギリス領小アンチルス諸島の中、最も名あるものをツリニダット³ 及びバルバドース⁴ の二島とす、バルバドース島はイギリス國海軍根據地の一たるを以て、又ツリニダット島は地瀝青の湖あるを以て、其名共に頗る高し。

此外太平洋の沖合には、バハマ群島の東北にベルミユ⁵ 群島ありて、イギリス國海軍の根據地たり、本

(アメリカ) 北アメリカ 邦土誌

島は西印度諸島中に入れざることあり。

此外小アンチルスの中には、フランス、オランダ及びデンマルクの三國に屬するものあり。

三、ハイチⁱ 此島は二個の共和國に分る、東にあるをサ

Hayti

ンドミンゴ²の共和國とし、西にあるをハイチ共和國とす、

St. Domingo

人民は黒人及び雜種多く、大抵基督舊教を奉ず、地味豊饒にして、鑛産に富むと雖ども、利源未だ十分に開發せられず。

一、中央アメリカ³

Central America

總論

位置。メキシコと、南アメリカのバハマとの間に横たはれる地峽部なり、面積我國より少しく大なり、邦制上五共和

3. Mittel-Amerika
Amérique Centrale

1. Haïti
Haïti

2. Domingo
St. Domingue

1. Nicaragua
Nicaragua

2. San Juan
San Juan

國と、一イギリス國殖民地に分る。

地文地理。北部は富饒なる高原にして、徐々に海に向て

傾斜す、又太平洋沿岸の火山脈はメキシコより來りて、此地方を貫通し、南アメリカに連る、地震も亦少からず、地勢狹長なるを以て著しき河沼なし、唯ニカラガ¹湖及びこれれより流出せるサンジュアン²稍名あり、氣候は略ほメキシコに同じ。

Nicaragua

人文地理。人口凡そ三百三十萬、其大半はアメリカ印度

人種なり、スペイン人の子孫は少數なれども、勢力を占む、基督敎最も行はる、教育は未だ進歩せず、地味肥沃にして、珈琲、椰子、砂糖、藍、煙草等を主なる物産とす、其他桃心木の産出少

(アメリカ)

北アメリカ 邦土誌

からず、工業及び貿易未だ盛大ならず、鐵道、電線次第に延長を來たし、交通漸次發達の兆あり。

地方誌。

中央アメリカに屬する各邦土を左に列擧す。

- | | | |
|---------------------------|---------------------------------|---------------------------|
| 1. Guatemala
Guatemala | 3. San Salvador
San Salvador | 5. Nicaragua
Nicaragua |
| 2. Salvador
Salvador | 4. Honduras
Honduras | |

- 一、グアテマラ 1 共和國。中央アメリカの北西部を占む、Guatemala
- 二、サルヴァドル 2 共和國。グアテマラの東南にあり、Salvador
- 三、サンサルヴァドル 3 と稱す。San Salvador
- 四、イギリス領ホンデユラス 4。グアテマラの東にあり、Honduras
- 五、ホンデユラス共和國。グアテマラの東南にあり。
- 六、ニカラガ 5 共和國。ホンデユラスの南にありて、此國のニカラガ湖及びサンジュアン河を通じて、ニカラガ運河

を開鑿して以て太平、太西兩洋の通路を短縮するの計畫あり。

六、コスタリカ 1 共和國。中央アメリカの最南部を占む。Costa Rica

七、メキシコ 2 Mexico

南北兩アメリカを連接する大地峽の北部をなす、東はメキシコ灣に濱し、西は太平洋に面し、北は合衆國に接し、南は中央アメリカに界す、面積凡そ十三萬方里、殆んど我國の五倍あり。

地勢。メキシコの地勢は一大高原より成ると云ふも可なり、其兩側に高山脈相連り、唯沿岸一帶の低地あるのみ、高原の南端は高峻なる火山頗る多し、就中首府メキシコの南

Acapulco Vera Cruz

- 1. Popocatepetl
Popocatepetl
- 2. Vera Cruz
Vera-Cruz
- 3. Orizaba
Orizaba
- 4. Acapulco
Acapulco
- 5. Grande del Norte
Grande del Norte

中等新撰地理 外國ノ部

(百五十四)

方にポポカテペトル¹、ヴェラクルーズ²港の西方にオリザバ³の二山あり、何れも高さ一萬八千尺に垂んとす、メキシコ灣沿岸にヴェラクルーズ、太平洋沿岸にアカプルコ⁴の二港を除くの外、著名なる港なし、太平洋沿岸には下カリフォルニア半島南方に突出して、同名の灣を擁す。

水系。地勢既に斯の如きを以て大河あることなし、但し合衆國との境界をなせる、グランデ⁵河は稍大にして、下流は舟楫を通ず。

氣候。氣候三様あり、一は溫和乾燥なる高原の氣候にして、此國の大部は此氣候を有す、二は高熱濕潤なる低地の氣候、三は寒冷なる山地の氣候これなり。

住民。人口一千三百萬にして、其中アメリカ印度人種及び雜種各四割、ヨーロッパ人種は二割を占め、多くは基督舊教を奉じ、教育は未だ普及せず。

政治。聯邦民主政治にして、陸軍海軍共に微弱なり、近時海軍を擴張するの計畫あり、本邦條約國の一にして、首府メキシコには本邦公使館あり。

産業。林産に富み、低地の森林には桃心木^{ヤカニ}を始め、其他の木材多く産し、農業は未だ發達せず、此國は鑛物に富裕にして、殊に銀の産額頗る多く、メキシコ銀の名世に高し、工業は未だ盛大ならず、外國貿易額は輸出入を通じて凡そ三億圓にして、輸出品の中一億三千萬圓は銀なり。

(アメリカ) 北アメリカ 地方誌

(百五十五)

斯の如く氣候溫和、天産富裕、且未だ開拓せざるの地多きを以て、近時此地に殖民をなすの計畫、本邦人の間に屢これありしかども未だ實行せられず、鐵道は合衆國に連り、電線其他交通の具次第に進歩を來せり。

都邑。首府メキシコ¹は海面を抜くこと七千五百尺の高處にあり、此地熱帯に位すと雖ども、斯の如き高處にあるを以て、氣候は頗る溫和なり、本邦公使館あり、

ヴェラクルーズ²は此國第一の要港にして、メキシコ灣に濱し、首府の東にあり、氣候不良なり、アカプルコ³は此國西岸の良港にして、首府の南西にあり。

四、合衆國。⁴
United States

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 3. Aca pulco
Aca pulco | 1. Mexico
Mexico |
| 4. Vereinigte Staaten
États-Unis | 2. Vera-Cruz
Vera-Cruz |

總論。

合衆國は北アメリカの中部を占むる一大國にして、東は大西洋に接し、西は太平洋に臨み、北はカナダに界し、南はメキシコに接す、面積は五十六萬餘方里、ヨーロッパ又は支那より少しく小に、我國の二十倍に餘れり、行政上四十五州、一區、五部落に分つ。

地勢。西方には、コルデレラ山系に屬する、數多の山脉南北に走り、其間一の高原をなし、東方には、アレガニー山系南北に走る、此山系と西方高原との間は、ミシシッピ河灌域に屬する一大平原なり、これによりて、合衆國は、地勢上左の四大區域に分る。

Alleghany
Alleghany

- 1. Cascaden
Cascades
- 2. Sierra Nevada
Sierra Nevada

一、大西洋地方。工業の盛なる地方なり。
 二、中部地方。ミシシッピ河灌域に當り、地味豊饒、農業盛大なり。

三、西方高原。東はロッキーマウンテン、西はカスケード¹及びシエラネバダ²諸山脈の間に横はり、高度平均五千尺あり、乾燥にして土地豊ならずと雖も、金銀の鑛山に富めり。
 四、太平洋地方。氣候極めて溫和あり。

水系。内地灌域は西方高原の大鹹湖四近にこれあるのみ、大鹹湖の鹽分は百分中三十二に達し、人體水中に沈まず、北境には五大湖ありて、其水はセントローレンス河に入る、而してミシガン湖は全く合衆國の域内にあり、シユューペリ

- 9. Ohio
Ohio
- 7. New-Orleans
Nouvelle-Orléans
- 5. Mississippi
Mississippi
- 3. Colorado
Colorado
- 1. Niagara
Niagara
- 10. Red
Rouge
- 8. Missouri
Missouri
- 6. Itaska
Itaska
- 4. Canōn
Canōn
- 2. Columbia
Colombie

オルは世界第一の淡水湖にして、イリノイ、オンタリオの間にはナイアガラ¹の瀑布あり。

大西洋地方の河は皆小なれども、河口は深くして良港をなすもの多し、太平洋地方にはコロンビア²河及びコロラド³河稍大なり、コロラド河の峡谷⁴は地文學上有名なるものとす。

中部大平原の水は皆ミシシッピ河に入る、ミシシッピ河は源をイタスカ⁶湖に發し、南流して數多の支流を合せ、ニューオーリアンズ⁷の南に於てメキシコ灣に入る、灌域二十一萬方里、支流ミソリー⁸を合せて測れば、全長千七百里となる、大支流は、此外にオハイオ⁹、レッド¹⁰及び

(アメリカ) 北アメリカ 地方誌

1. Arkansas
Arkansas
2. Yellowstone
Yellowstone

アルカンサス¹の三河あり、舟楫を通ずること本支流を合して殆んど七千里に垂んとす、實に世界第一の長流と云ふべし、ミソリー²河の支流なるエローストーン²河の上流には有名なる間歇温泉あり。

Yellowstone

氣候。合衆國は全く温帯地方にありと雖も、土地廣大なるが故に、寒冷濕潤なる土地あり、酷烈乾燥なる地あり、又大陸的氣候を有する處あり、但し太平洋地方は氣候頗る温暖にして濕潤なり、これ全く温暖なる海流の影響によるなり。

住民。人口凡そ七千餘萬、本邦の人在留するものは七千餘人、又支那人は十萬に餘る、明治十五年法律を以て支那人の移住を禁止したり、又合衆國には土人凡そ三十萬あり、彼

等は漸次消滅に歸するが如し、

人民多く新教を奉ず、舊教徒も亦少からず、教育は頗る普及し、殊に北部及び東部の諸州を然りとす、女子教育頗る盛大なり。

政治。聯邦民主政治にして、議會は上下兩院より成る、行政部の長を大統領と云ひ、四年毎にこれを改撰す、陸軍は全國を通じて二萬五千の常備兵あるに過ぎず、海軍は頗る強盛にして、世界第六位に在り、而して海陸軍共に急激の進歩をなしたるあり、本邦條約國の中最も密接なる關係を有する國の一なり。

産業。農業を以て第一とす、就中綿花及び穀類の産額は

1. Arkansas
Arkansas
2. Yellowstone
Yellowstone

アルカンサス¹の三河あり、舟楫を通ずること本支流を合して殆んど七千里に垂んとす、實に世界第一の長流と云ふべし、ミソリー²河の支流なるエローストーン²河の上流には有名なる間歇温泉あり。

Yellowstone

氣候。合衆國は全く温帯地方にありと雖も、土地廣大なるが故に、寒冷濕潤なる土地あり、酷烈乾燥なる地あり、又大陸的氣候を有する處あり、但し太平洋地方は氣候頗る温暖にして濕潤なり、これ全く温暖なる海流の影響によるなり。

住民。人口凡そ七千餘萬、本邦の人在留するものは七千餘人、又支那人は十萬に餘る、明治十五年法律を以て支那人の移住を禁止したり、又合衆國には土人凡そ三十萬あり、彼

等は漸次消滅に歸するが如し、

人民多く新教を奉ず、舊教徒も亦少からず、教育は頗る普及し、殊に北部及び東部の諸州を然りとす、女子教育頗る盛大なり。

政治。聯邦民主政治にして、議會は上下兩院より成る、行政部の長を大統領と云ひ、四年毎にこれを改撰す、陸軍は全國を通じて二萬五千の常備兵あるに過ぎず、海軍は頗る強盛にして、世界第六位に在り、而して海陸軍共に急激の進歩をなしつつあり、本邦條約國の中最も密接なる關係を有する國の一なり。

産業。農業を以て第一とす、就中綿花及び穀類の産額は

世界の市場を動かすに足る、牧畜業も亦頗る盛大なり、漁業も亦漸次進歩の勢あり、又合衆國は鑛産に富めること非常にして、太西洋岸の諸州及び中央諸州に廣大なる炭田あり、又鐵鑛の産地頗る多し、金銀も亦多額に産し、就中カリフォルニア州の金を第一とす、工業も亦年々盛大を極む。

合衆國の内地貿易は額る巨額なり、外國貿易も日進の姿ありて、輸出入の總額三十六億圓に達し、主なる輸出品を綿花、麥粉、肉類、石油、鐵類とす、主なる取引先はイギリスにして、ドイツこれに次ぐ。

本邦との貿易又頗る盛なり、明治三十年中本邦より合衆國への輸出五千二百餘萬圓にして、全輸出額三分の一を占め、

合衆國よりの輸入は二千七百萬圓なるに過ぎず、蓋し合衆國は我國の好花主の第一にして、且將來に於ても此國との貿易は頗る有望なることは、吾人の常に注意すべき所なり。
交通。鐵道の延長十八萬哩に達す。就中鐵道の太平洋岸に起りて太西洋岸に通ずる線路三あり。中央太平洋鐵道、北太平洋鐵道、大北鐵道、及び南太平洋鐵道これなり、中央太平洋に於てミシシッピ河、及び北境に於て五大湖地方、水利の大なるは前に述べたり、又太西洋沿岸には河口に良港少からずして、ヨーロッパとの航通非常に盛大なり。

地方誌。

合衆國は行政上四十五州、一區、五部落よりなる、此五十一

地方を七ツに大別す、大西洋北部、大西洋南部、中部南區、中部北區及び西部の諸洲、インデアアン及びアラスカの二部落これなり。

一、大西洋北部諸洲。大西洋沿岸の北部に屬する九州を包括す、此諸州は工業盛大にして、大都府少からず。

大ニユーヨーク¹、ハドソン² 河口にありて、人口三百十

Great New York

Hudson

萬(我東京の人口の二倍より大なり)、南北アメリカ第一の大都會にして、又世界第二の都會なり(もとニユーヨークの外

Brooklyn

にブルックリン³等これに接續せる大都會數多ありしが、明治三十一年一月より合併して、大ニユーヨーク府となれり、本港は世界航路の要點に位し、船舶の出入非常に頻繁に

- 1. Grosse-New-York
Grand-New-York
- 2. Hudson
Hudson
- 3. Brooklyn
Brooklyn

して、又宏大なる造船所あり、合衆國外國貿易の一半は、本港に於て行はるゝを以ても、其盛大なること推して知るべし、本邦領事館あり。

フィラデルフィア¹ ニユーヨーク府の南西に位し、デラ

Philadelphia

ウエーア² 河口に位す、人口百〇五萬、合衆國第三の大都會

Delaware

なり、合衆國獨立戦争の時、獨立の布告は此府に於てなしたりき。

ボストン³ ニユーヨークの北東にあり、人口四十五萬、フ

Boston

ランクリン⁴ 其他諸大家の輩出せし所なり、郊外にハー

Franklin

ヴァード⁵ 大學あり、又ボストンの西方スプリングフィールド⁶

Harvard

Springfield

の近傍に有名なるマウント、ホリヨーク⁷ 女子大學

Mount Holyoke

(アメリカ) 北アメリカ 地方誌

(百六十五)

- 1. Philadelphia
Philadelphie
- 2. Delaware
Delaware
- 3. Boston
Boston
- 4. Franklin
Franklin
- 5. Harvard
Harvard
- 6. Springfield
Springfield
- 7. Mount Holyoke
Mount Holyoke

1. Pittsburg
Pittsburg

2. Washington
Washington

3. Columbia
Columbia

4. Baltimore
Baltimore

5. Johns Hopkins
Johns Hopkins

あり。

ピッツブルグ¹ ニューヨークの西にあり、近傍鐵、石油、石炭の産出に富み、工業盛大なり。

二。大西洋南部諸洲。大西洋沿岸の南部八洲及び一區を包括し、主要なる都府をワシントン及びバルチモーアの二府とす。

ワシントン² コロンビア³ 區にありて、ニューヨークの

南に當り、合衆國の首府にして、人口二十三萬あり、本邦公使館あり。

バルチモーア⁴ ワシントンの北東にあり、人口四十三萬

有名なるジョンズホップキンス⁵ 大學あり。

Johns Hopkins

- 1. Chicago
Chicago
- 2. St. Louis
St. Louis

3. New-Orleans
Nouvelle-Orléans

三。中部北區。ミシシッピ河灌域の北部を占め、十二洲を包括す、農工の業盛大にして、繁盛なる都府多し。

シカゴ¹ は合衆國第二の大都會にして、人口百十萬、ミシ

Chicago

ガン湖の南西岸を占む、本邦領事館あり、明治二十六年コロ

ンパス世界博覽會の開設を以て、殊に本邦人に知らる、セン

トルーイ² はミシシッピ河の西岸に位し、ミソリー河

St. Louis

の注入する會合點に密接す、人口四十五萬、合衆國の略中央點に位す。

四。中部南區。ミシシッピ河灌域南部の七州、一部落を

包括す、其都會をニューオーリアンズ³ と名ず、ニューオー

New Orleans

リアンズはミシシッピ河口に近く、兩岸に跨り、合衆國第

(アメリカ) 北アメリカ 地方誌

(百六十七)

二の貿易港にして、綿花取引の盛なること、リヴァプールを除き世界これに匹敵する所なし、内外國汽船航路の要點に當り、南太平洋鐵道はこれよりサンフランシスコ港に通ず。

五。西部諸州。合衆國西部の九州及び二部落を包括す、西部高原及び太平洋斜面は皆此部に入る、主要なる都府をサンフランシスコとす。

- 2. Tacoma Tacoma
- 3. Puget Puget

サンフランシスコ 湾を抱ける半島の北端に位し、新世界に於ては太平洋岸第一の港にて、横濱を距ること四千七百五十里、世界交通の要點に當り、貿易繁盛なり、本邦人の在留するもの頗る多く、本邦領事館あり。

タヌマ 2 合衆國の西北隅ビュージェット 3 湾頭に位し、Tacoma Puget

- 1. Seattle Seattle
- 2. Indianer Indien

本邦との貿易盛にして、本邦領事館の設けあり、本港の北十八哩の處にシャートル 1 あり、日本郵船會社の所謂米國航路の歸着點として、最も吾人に知らる、本邦領事分館あり。

六。インヂアン 2 部落。合衆國の中央にある一地方にて、アメリカ印度人種の住所なり、近時次第に開明に進めども、其人口減少す。

- 3. Alaska Alaska
- 4. St. Elias St. Elie
- 5. Yukon Youkon

七。アラスカ 3 部落は北アメリカの北西隅に位し、面積凡そ九萬方里の地を占むる一大半島と、アリユーション群島より成る、セントエリアス 4 山は北アメリカ第一の高山にして、國の南東隅にあり、高さ一萬八千餘尺あり、ユーコン 5 河は此地方の大河にして、長さ九百里あり。

アリユーシアン¹ 群島は活火山頗る多く、本陸沿岸も共に水産に富めり。

五、イギリス領北アメリカ。

附グリーンランド

總論

北は北氷洋に接し、東は大西洋に濱し、南は合衆國に境し、西は太平洋及び合衆國のアラスカに接す、面積五十七萬方里、殆んどヨーロッパ全土に等し、行政上カナダ² 及びニューファンドランド³ の二部に分つ。

地勢。西方に、コーデレラ山系に屬する數多の山脉南に走り、ロッキーマウンテン、カスケードの兩山脉其主たるものにて、兩

1. Alëuten
Alëoutienne

2. Kanada
Canada

3. Neu Fundland
Terre-Neuve

1. Winnipeg
Ouinipeg

2. Athabaska
Athabasca

3. Grosse Sklaven
Gd. L. de l'Esclave

4. Grosse Bären
Grand Ours

5. Hudson
Hudson

6. St. Lorenz
St. Laurent

7. Montreal
Montreal

8. Niagara
Niagara

山脉の間は一帶の高地を成す、東方ラブラドル半島にも分水界西北に走り、オンタリオ、イリノイ、ヒュロン、シユトペリオル、ウイニペグ¹、アサバスカ²、グレートスレイヴ³、グレートベヤ⁴の諸湖あり、カナダの北は數多の港灣出入し、群島前に羅列す、其最も大なるものをハドソン⁵ 灣とす。

水系。東南の湖水及びラブラドル半島の南面區域は、セントローレンス⁶ 河の灌域に屬す、セントローレンス河口は開て一大三角江をなし、終にセントローレンス灣に注ぐ、大船は溯てモントリアル⁷ に至るを得べし、イリノイ、オンタリオ兩湖の間には、有名なるナイアガラ⁸ の瀑あり。

(アメリカ) 北アメリカ 地方誌

- 1. Saskatchewan
Saskatchewan
- 2. Nelson
Nelson

サスカチワン¹河はロッキーマウンテン²の東麓に發し、ウィベック河に入り、これよりネルソン²河となりて流出し、ハドソン灣に注ぐ、夏季は舟運の利あり、ネルソン河は急流にして水利なし。

- 3. Mackenzie
Mackensie

マッケンジー³河は源をロッキーマウンテン系中に發し、東北に流れてアサバスカ湖に入り、更に西北に向ひ、グレートスレイブ湖を貫流して海に入る、夏季舟運の便あり。

- 4. Columbia
Colombie

氣候 カナダは各種の氣候を有し、所によりて一様ならず、海岸殊に西南岸の地は、寒暖中庸を得て雨量少からず、イギリス領コロンビア⁴の如き氣候最も溫和なりと稱す、内地は大陸性氣候を有し、寒暑の差甚しく、空氣乾燥なり、東岸

は西岸に比して寒冷にして、セントローレンス河の如き、冬季氷結す、カナダの北方なる北アメリカの多島海は世界中最寒の場所なり。

ニューファンドランド^{Newfoundland}近海は、寒流北より來りて深霧を生じ、氣候沍寒なれども、又水産を以て最も名あり。

住民 人口凡そ五百萬にして、我國の一割強に當るのみ、ユーリアン人種にして、多くイギリス語を用ゆ、又フランス人の子孫も少からず、アメリカ印度人の數は十萬人に過ぎず。

宗教は基督舊教及び新教並び行はる、教育は漸次進歩し、各州皆大學を有す。

Neu Fundland
Terre Neuve

Handwritten: *Newfoundland*

政治。 カナダはイギリス帝國の版圖中、印度に次で最も大切なる處なるを以て、政治上の組織は本國と同一にして、議會は上下兩院より成り、行政部の長として總督あり、ニユーフオンランドは殖民地として、別に本國より直接にこれを支配す。

産業。 カナダは天産物に富裕にして、其穀物と材木とは世界他に比類多からず、又牧畜の業も非常に盛大にして、北西部には巨額の毛皮を産す。ニユーフランド近海は鱈及鮭の漁獲非常にして、世界有數の漁場なり。

工業も前途有望にして、商業は漸次盛大の勢を呈し、輸入の總額五億萬圓に達す、主要なる輸出品は材木、乾酪、穀物、

魚類等なり、本邦よりの輸出は二百餘萬圓にして、茶を主とす。

交通 水利の大なるは他國に類多からず、航通すべき湖水、河水及び運河多く、モントリールまで五六千噸の船を通ずべく、小舟はこれより尙進んで、シユーペリオル湖頭に達するを得べし、鐵道の延長も亦日進の姿ありて、總計一萬六千哩に達す、此中カナダ太平洋鐵道はモントリールより、ヴァンクーヴァーに至る、殆んど三千哩の間に敷設せられたり、此鐵道及びカナダ太平洋鐵道汽船會社、ヴァンクーヴァー香港間の航路により、リヴァプール横濱間も、三週間ならずして達するを得るに至れり。

附グリーンランド。

- 1. Greenland
Groenland
- 2. Eskimo
Esquimaux
- 3. Halifax
Halifax
- 4. Quebec
Québec
- 5. Montreal
Montréal

グリーンランド¹は蓋し群島なるべし、此地方にては廣大なる氷河、峽灣に墮落して冰山となる、西岸に二三の殖民地あるのみ、住民は主として、エスキモー²種族にしてデンマルク領に屬し、海豹及び鯨の捕獲を業とす。

地方誌。

ハリファックス³東岸にある良好なる港にして、近傍石炭の産地に富む、北アメリカよりイギリスに至る最短距離に當るを以て、カナダ太平洋鐵道の延長線は此處に終れり。クエベック⁴セントローレンス河の左岸に位す、此府より上流にモントリアル⁵あり、カナダ太平洋鐵道の起點にして、又航行汽船の發着所なり。

- 1. Ottawa
Ottawa
- 2. Columbia
Colombie
- 3. Vancouver
Vancouver

オッタワ¹セントローレンス河の支流、オッタワ河畔にあり、カナダの首府にして、總督此處に駐在す。イギリス領コロンビア²カナダの内、ロッキーマウンテン以西、太平洋沿岸一帯の地を總稱せるものにして、林産及び鑛産に富む、南東にヴァンクーヴァー³島あり、全島に對し合衆國に接する所の本陸に、ヴァンクーヴァー港あり、此港はカナダ太平洋鐵道の起點にして、又世界航路の要衝に當り、ハワイを経て、オーストラリアのシドニーへ、凡そ六千八百哩、横濱へ凡そ四千四百哩、ウラジオストクへ四千八百哩なり、本邦人の在留するもの、三百人に餘り、本邦領事館の設けありて、本邦との貿易も將來最も有望なり。

新

撰

地

理

之外
部國

下

篇

第七章。東アジア。

第一節。支那。

總論。

China

位置。支那は中央アジア、及び東部アジアの殆んど全部を包括する大國にして、本邦より西方に當れり。

境界。北はシベリアに境し、南はトンキン及びイギリス領印度に接し、西はシベリア、ロシア領トルケスタン²及びイギリス領印度に接し、東はシベリアと朝鮮とに境し、又黄海及び東海を隔て、朝鮮及び日本の南西部に對す。

廣袤。南北は幅九百里、東西は長さ一千三百里、面積は少

くとも七十萬方里あり、イギリス、ロシア二國を除けば、支那より大なる國は世界になし。

區劃。行政上、直省及び外藩に分る、直省とは、直接に支那中央政府の支配を受くる部にして二十二省あり。

直隸	天津	陝西	西安
山東	濟南	甘肅	蘭洲
山西	太原	四川	成都
河南	開封	雲南	雲南
江蘇	蘇洲	江西	南昌
安徽	安慶	浙江	杭州
省。	首府。	省。	首府。

湖北	武昌	福建	福州
湖南	長沙	廣東	廣州
廣西	桂林	奉天	奉天
貴州	貴陽	黑龍江	齊々哈爾
吉林	吉林	新疆	迪化

就中吉林、奉天、黑龍江の三省は、滿洲の地にして、これを東三省と稱す、新疆省は伊犁の地なり、此東三省と新疆省とを除き、他の十八省を通じて、支那本部の名あり。

外藩は、蒙古、青海、西藏の三部に分る。

地勢。支那の地勢は二ツに分る、即ち中央アジア及び東部アジアの地勢これなり。

1. Everest
Everest
2. Kuen-lun
Kouen-lun

中央アジアの地勢。廣大なる高原の性を具し、唯二つの低地を有するのみ、數多の山系は此區域の境上及び内部に横はり、皆パミール高原より起り、多く東西の方向に連亘す、今其最も南なるものを擧ぐれば、ヒマラヤ山系最も高く、其最高點はエヴェレスト^{Everest} 1 峯にして、二萬九千〇〇二英尺に達し、世界第一の高峯なり、其北は西藏高原にして、世界第一の高原なり、西藏高原の北に崑崙山系^{Kuen-lun} 2 あり、これより北すれば階段状をなして、塔里木河盆地の低原に降る、これ天山南路即ち東トルケスタンの地方なり、此低地の北は、階段状をなして天山山系となり、再び降りてメンガリア即ち天山北路の低地をなす。

Gobi
Gobi

崑崙山系は東に延び、北するものは祁連山、賀蘭山及び陰山の諸山脉となり、支那本部、滿洲、蒙古、相接する地點に達し、爰に於て興安嶺に連り、南北の方向に走り、以て滿洲及び蒙古の境界をなす。

中部蒙古は、ゴビ^{Gobi}の沙漠、羅布湖の近傍より起りて、興安嶺に至り、其高度約三千尺なり。

パミール高原の東方を限るを葱嶺とす、葱嶺より連りて、北東に走るを、天山及び阿爾泰の兩山系とす、阿爾泰山系は更に延びて、ヤプロノイスタノウオイの兩山脉に連る。

東部アジアの地勢。崑崙山系延びて、黄河、楊子江の間に綿亘す、其各部に珉山山脉、秦嶺山脉、伏牛山山脉等の名あり、

(東アソシ) 支那

(五)

所謂北嶺とはこれなり、又南嶺は西藏の東邊に起り、楊子江の南部に綿亘し、其西部は横斷山脉に連る、横斷山脉は南北に走りて、數多の縦谷をなし、金沙江、瀾滄江、怒江、龍川江其間を流下す。

海岸。支那の海岸は、國土の廣大なるに比しては、割合に長からず、凡そ千里を超えず。

渤海の沿岸。渤海は最も北方にありて、遼東半島と山東半島との間なる直隸海峡は、これが門戸をなす、渤海は二大灣をなして突入す、其北なるを遼東灣と云ひ、南なるを直隸

灣と云ふ、牛莊¹及び天津²の條約港あり。

黄海の沿岸。楊子江以北、直隸海峡以東、一帶の海岸を云

1. Niu-tschwang
Niou-tchang

2. Tien-tsin
Tien-tsin

1. Port Arthur
Port Arthur

2. Tschifu
Tchi-fou

3. Wei-hai-wei
Wei-hai-wei

ふ、遼東半島の東岸に於ては、其西部に旅順口¹あり、港内深からずと雖ども、支那の一要港なり、其東に大連灣あり、灣内廣く、方三里に達し、水深くして碇泊に便なり、これより東北に進みて、大孤山港あり、大連灣の東方、遙に横はれる群島中に、海洋島あり、山東半島の北岸に於ては、西に芝罘²の條約港あり、これより東に威海衛³の軍港あり、劉公島其口を扼す、日清の役、我軍の清國北洋艦隊を全滅したるは此所なり、威海衛を過ぎ、山東高角の岬を廻れば、榮城灣あり、日清の役、我軍の上陸して、威海衛の背後を襲ひし所なり、尙南西に進むときは、膠州灣あり、灣内廣く、水深くして、最も良港の名あり、ドイツ國近時これを占領せり、膠州灣以南は海岸稍低く、

(東アムル) 支那

(七)

多くは一帯の低濱にして、島嶼も亦多からず、港灣の名あるものなし。

- | | | |
|-----------------|------------------------------|-------------------------------|
| 5. Amoy
Amoy | 3. Wen-tschou
Ouen-tcheou | 1. Hang-tschou
Hang-tcheou |
| | 4. Fu-tschou
Fou-tcheou | 2. Ning-po
Ning-po |

東海の沿岸。楊子江の口より、臺灣海峡に至るまでを含み、沿岸には小灣、良港少からず、楊子江口より南すれば、錢塘灣あり、浙江これに入る、灣頭に近く、此江を溯りて、杭州¹府あり、近來我國の爲めに開きたる四港の一なり、亦海嘯津浪に非らずの現象を以て著はる、錢塘灣の東に横はるを、舟山列島とす、これより南に寧波²の條約港あり、寧波より南方に温州³福州⁴厦門⁵の三條約港あり、東海沿岸は島嶼少からず、就中厦門島最も名あり、厦門島は厦門港の東北口を擁す。

- | | | |
|----------------------------------|-------------------|----------------------|
| 4. Kiung-tschou
Kioung-tcheou | 3. Makao
Macao | 1. Swa-tau
Swatow |
| 5. Pak-hoi
Pa-koi | | 2. Kanton
Canton |

南海(支那海)の沿岸。臺灣海峡以南の區域を占む、南部廣東省の雷洲半島及び瓊洲島、又海南島あり、其間を瓊洲海峡と云ふ、此海峡の西は、即ちトンキン灣なり。

支那海の沿岸區域は、出入に乏しからず、北には汕頭¹の條約港あり、イギリス領なる香港の小島は、廣東灣の東にあり、灣頭に廣東²の條約港あり、灣口の西岸に位する小島は、ポルチユガル領なる澳門³なり、瓊洲島の北岸に瓊洲⁴雷洲半島の西北に北海⁵の條約港あり。

水系。支那は河流に富む、其最も大なるものを、黄河及び楊子江とす、楊子江は最も水運の便を與へ、黄河は屢洪水の憂を生ず、其他珠江、白河等の巨流あり、其水多くは海に朝宗

- 1. Tarim-Tarim
- 2. Ili Ili

すと雖ども、然らずして内陸に始終するものあり。内地に始終する河流は、羅布湖に入るタリム^{Tarim} 1 河、天山北路を流る、伊犁^{Ili} 2 河等となし、沿海に朝宗するものは左の如し。

- 3. Sungari Soungari
- 4. Ussuri Oussouri

松花^{Sungari} 3 江は滿洲中部の大江にして、源を白頭山に發し、嫩江を合せて黒龍江に入る、烏蘇里^{Ussuri} 4 河は黒龍江の一支流にして、シベリアと支那との界をなす、河身上流まで漁船を通じ、ウラジオストクに至るの要路にして、且其右岸はシベリア鐵道の通過する所なり。

- 5. Hoang-ho Hoang-ho

黃河^{Hoang-ho} 5 は單に河と稱す、崑崙山系の北部に發し、甘肅省の蘭洲府に至り、北に向て一大屈折をなし、一度長城の

- 1. Pei-ho Pei-ho
- 2. Jang-tse-kiang Yang-tse-kiang
- 3. I-tschang I-tchang

外所謂塞外の地に出で、再び南下し、潼關に於て東折し、河南の開封府に至り、東方直隸灣に入る、長さ凡そ一千三百里、急流にして水運の便なく、下流堤防墮壞、水害絶ゆることなし、河水は常に黄土を含みて濁れり、河道の變更甚しく、中國の憂をなす。

白河^{Pei-ho} 1 は直隸省の一部を灌漑し、天津より太沽を過ぎて海に入る。

揚子江^{Yang-tse-kiang} 2 は河程一千四百里、アジア第一の大河なり、支那人は單に江と稱し、又長江或は大江と稱す、源を崑崙山系に發し、支那本部に入る、上流を金沙江と曰ふ、横斷山脉の谷に沿ひ、甚しく雲南に向ひて屈折し、東向して宜昌^{I-tchang} 3

(東アムル) 支那

(十二)

- 1. Scha-schi
Cha-chi
- 2. Tung-ting
Toung-ting
- 3. Han-kiang
Han-kiang
- 4. Po-jang
Po-yang
- 5. Kiu-kiang
Kiou-kiang
- 6. Wu-hu
Wu-hu
- 7. Kiang-ning
Kiang-ning
- 8. Tsching-kiang
Tching-kiang

を經、沙市¹を過ぎ、洞庭²湖の水を合せ、漢江³の大支流を併せ、鄱陽⁴湖の水を加へ、九江⁵、蕪湖⁶、江寧⁷、鎮江⁸の四條約港を經、上海に近く海に入る、崇明島其口に横はり、河口は黃海、東海の境をなす、宜昌以下は水流緩にして、大船を行るべし、本支兩流に沿へる條約港あり、重慶⁹、宜昌、沙市、漢口、九江、蕪湖、江寧、鎮江これなり、揚子江沿岸の地は地味最も沃、物産最も饒にして、又炭田に富めり、其下流には運河縦横に通じ、又有名なる大運河も此所にあり。

珠江。珠江は一は粵江と云ふ、西洋人の廣東河と稱するものこれなり、其本流は西江¹¹にして源を雲南省の東方に發し、上流を盤江と云ふ、廣西省の梧州¹²以下は、大船を通じ、

- 9. Tschung-king
Tchung-king
- 10. Han-kau
Han-keou
- 11. Si-kiang
Si-kiang
- 12. Wu-tschou
Wu-tcheou

下流四近、特に其三角洲は、地味最も豊饒なり。

氣候。西藏、蒙古の高原は、寒暑共に烈しく、極めて乾燥にして、支那本部中、黃河及び揚子江の灌域は、氣候頗る溫和なり、支那本部に於ても、北部の冬は酷くして、南部の暑は烈しきも、中央アジアの如く、大陸性の氣候を有せず、且つ何れの所も、雨量に不足を告ぐることをなし。

支那本部は、沿海の地溫和なるも、内地は寒暑共に偏す、南部は已に熱帯に入り、且つ氣候風の影響を受け、雨量多し、其沿海部は夏秋の交、颶風の襲來最も恐るべし、これを大風と稱し、海賊と共に支那海に於て最も恐るべきものとす、大風の起るや漸く來て本邦を襲ふを常とす。

住民。支那の人口は凡そ四億三千二百萬にして、此内支那本部は四億二千三百萬、滿洲は五百七十萬、蒙古及び新疆省を合せて二百萬、西藏は百五十萬、青海地方は十五萬あり。これ等四億餘の人民は多く支那本部の沿海及び河岸に住す、支那一局部の人口非常に稠密なるが故に、海外に移住せる者は全世界に亘り、無慮三四百萬なり、本邦に在留する者も、明治三十年末には五千二百餘人ありき。

人種。支那の人種は、大別して漢種、蒙古種、^{Tungus} トングズ 1 種、

^{Turk} トルコ 2 種、西藏種、苗種の六つに分る。

言語。蒙古語、トングス語、漢語、トルコ語の四大別あり、漢語は支那本部地方に主として行はる、上流社會一般に通ず

1. Tungus
Toungouse

2. Türke
Turc

るを、官語と云ふ。

性質及び風習。支那の大部を占むる漢人及び滿洲人一般に就て、其主要なる特性を擧ぐれば、一勤儉の性質に富み、多くは吝嗇なり、二容易に舊來の習慣を捨てず、但し其利を知るときは、舊を捨て、新に就くこと、極めて急劇なり、三忍耐の性質に富む、四商業上に敏活にして、團結を固くす、五、人種の雜駁、方言の多種等、其他百般の關係、各地同一ならざるにより、一國民としての觀念に乏し。

食物。南部は米、北部は粟、膏粱等を常食とす、支那人は凡て脂肪多きを好み、特に豚を用ゐ、寒冷なるもの、又は煮熟せざるものは一切用ゐず、盛宴には食品の數非常に多くして、

且つ燕窩、熊掌、魚翅の如き、山海の珍味を加ふ、これ支那食物の特性なり、近世に及んで、彼等は阿片烟を吸ふ習慣に陥り、政府これを嚴禁すれども廢すること能はず。

衣服。衣服は上衣及び下裳より成り、男子は中央一部の頭髮を存し、他はこれを剃り去り、打組みて長く背後に垂る、この辮髮の制は清朝に始まる、男子四十歳未滿のものは多く鬚を蓄へず、又一般に爪の長きを誇り、勞働せざる證とす、支那本部の女子は足の小なるを以て美とし、幼時より纏束して自在に發育することなからしめ、脚底彎曲して馬蹄の狀をなし、獨り行歩すること能はずして、侍女の助による、所謂纏足とはこれにして、阿片と共に支那風習の二大弊とす。

喪祭は鄭重に行ひ、祭祀は祖先を祭るを第一とし、關羽これに次ぐ、墓所を定むるには許多の費を投じ、其地相の善きを撰びて、子孫長久の基とす。

教育。教育の制度は、官吏を養成するを以て目的とす、國子監は北京に設立し、文武官を養成する特別の大學校なり、洋式學校は泰西の學術を授くる學校にして、北京、上海、廣東にあり、其他天津に醫學校及び電信學校あり、海陸軍學堂は新式の兵學校にして、北京、天津、漢口、福建にあり、特別の學校を除き、他は皆經史文章を教授し、以て科擧に應ずるを目的とす、科擧に應ずるには、歲試、鄉試、會試、殿試を経るを要す、皇帝親しく殿上に於て考試す、これを殿試と云ふ、及第者は進

士と云ひ、其成績により官に任ぜらるゝこと各差あり、近時泰西の風に習ひ、大中小學校を建設するの舉あり。

宗教。宗教は多種にして、殆んど凡ての宗教を網羅せり、今これを擧ぐれば、儒、道、佛、白蓮、喇嘛、回、基督、猶太、拜物の八教あるを見る、其最も行はるゝは、儒、道、佛の三教なり。

政治。君主專制にして、其政治機關は帝室部、中央部及び地方部より成る、帝室部は、宗人府及び内務府より成る、宗人府は皇族の政令を掌り、内務府は帝室の庶務を總理す、中央部には内閣ありて、皇帝を補翼す、然れども別に辨理軍機所ありて、軍國の機務を參決し、内閣の實權は移て、此所にあり、内閣の次に、吏、戸、禮、兵、刑、工の六部衙門ありて、各部の政務を

處理す、別に海軍部あり、又總理各國事務衙門ありて、外國に關係する事務を掌り、都察院ありて、官吏の風紀、政治の得失を糾し、理藩院ありて、藩部の政務を掌る。

地方部。二十二省の中、東三省を除き、十九省には、一省或は二三省に、總督一人を置き、軍務を統べ、文政を布く、別に各省巡撫一人を置く、但し河南、山東、山西の三省には總督を置かず、又四川、直隸の二省は各一總督あり、別に巡撫を置かず、蒙古及び西藏は理藩院の管理の下にあり、蒙古は數多の旗に分る、每旗に札薩克を置き、酋長を以てこれに充つ、札薩克なき地方には、將軍、都統又は大臣を置き、文武の政を掌らしむ、西藏は教王の支配に任じ、北京より派遣せる官吏、これ

を監督するに止まる。

各省の下に府あり、府の下に洲、縣、廳あり、知府は凡てこれを監督す、直隸洲なるもの別にありて、省に直隸し、府に屬せず。

兵備。陸軍は、八旗、綠旗及び勇^郷の三者より成る。

八旗の名は、軍隊の旗色に由來したるものにて、正黃、正白、正紅、正藍、鑲黃、鑲白、鑲紅、鑲藍の八旗を用ゐ、總稱して八旗と云ひ、每旗に都統、副都統を置き、これを統轄す、もとは滿洲兵のみを以て、八旗をなせしも、其後蒙古八旗、漢八旗を編し、總計二十五萬あり。

綠旗は漢人を以て組織し、其數四十六萬、大抵各省に駐防

す、又長髮賊、亂を起したるとき、各省より募集せし郷勇を勇兵と稱す、當時大に功を奏し、其制今尙存す、八旗及び綠旗の兵より、撰拔したる軍を、練軍と稱す。

海軍。近世に至り、新に海軍部を設置し、北洋艦隊、南洋艦隊、福建艦隊、廣東艦隊を統ぶ、然れども最も精銳なる北洋艦隊は、日清の戦役によりて全滅し、今は脆弱なる殘餘の三艦隊あるのみ。

軍事に屬する製造所には、福洲の馬尾船政局、及び上海の江南機器局、規模最も大なり。

外交。支那と通商條約を締結したる國の數、凡て十六あり、我國は北京に公使館、上海に總領事館、牛莊、天津、芝罘、重慶

漢口、杭州、厦門、沙市及び蘇洲に、領事館を置く。

産業。支那は物産非常に富裕なりと云ふを得べし。

主要なる農産物は、米、麥及び高粱とす、北部は畑多くして、麥を主とし、南部は水田多くして、米を主とす、高粱は四川省に産するもの、多量にして且つ良質なり。

人參は帝室の所用に供し、人民の採取を禁ず、滿洲其他の山林に多し。

茶及び綿は、支那南部の主要なる農産物なり、阿片は近年まで、専ら印度の輸入を仰ぎしが、近時盛んにこれを培養す、蠶絲も亦茶と共に、重要輸出品の一にして、其産額頗る多く、就中浙江省の杭州府を第一とす、繭綢は山東省の名産とす。

石炭及び鐵礦に富み、炭田の面積は、約數萬方里を越ゆと云ふ、目下盛に採掘せるは、開平四近の炭坑なり、鐵礦は非常に富裕にして、全國到る所これを産出す、其他金、銀、銅、鑛等又少からず、殊に雲南を以て最も主要なる産地とす、東洋特有の鑛物たる玉は、崑崙山系より産す。

牧畜は盛にして、騾馬及び驢馬は共に北支那に多し、沙漠地方には駱駝を牧す、綿羊、山羊の大牧場は蒙古にあり、豚は盛んにこれを飼養し、最も其肉を嗜む、天産の動物には、南部に虎あり、又雲南の森林中には、象、犀、獐等あり。

工業。支那の工業地は南部にあり、陶器、紫檀細工、絹布、織布、製鐵、造船の業を主とす、陶器は南京、燒古より名あり、九江

を以て支那陶器産地の第一とす、製鐵所は張之洞の計畫したる所にして、漢口の近傍なる、漢陽府の城北にあり、其規模至て大なり。

商業の最も盛なるは上海にして、支那外國貿易の中心なり、内國商業の中心とも見るべきは漢口にして、其外國貿易も漸次盛大の兆あり、廣東は支那南部商業の中心にして、天津は北部の中心なり。

重要なる輸出品は絹絲及び茶にして、絹絲は輸出總額の凡そ三分の一、茶は凡そ五分の一に達し、砂糖、紙、織物、陶器等これに次ぐ。

重要なる輸入品は、金巾及び阿片にして、金巾は輸入總額

の三分の一、阿片は五分の一に達す、即ち支那は絹絲を以て金巾を買ひ、茶を以て阿片を買ふものと云ふべし、金巾及び阿片に次ぐを、金屬及び石油とし、水産物、毛織物等又これに次ぐ。

- | | | |
|---------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 5. Sz' mau
Sse-mao | 3. San-schui
San-chui | 1. Su-tschau
Su-tcheou |
| 6. Mōng-ting
Meng-ting | 4. Lung-tschou
Lung-tcheou | 2. Jo-tschon
Yo-tcheou |

貿易場の已に開かれたるは三十一ヶ所にして、これを列舉せば、渤海の沿岸に、牛莊、營口、秦王島、天津の三港、黃海の沿岸に、芝罘の一港、東海の沿岸又はこれに近く、上海、蘇洲¹、杭州、寧波、溫洲、福州、三沙澳、厦門の八港、南海の沿岸に近く、汕頭、廣東、瓊洲、北海の四港、楊子江畔に、鎮江、江寧、蕪湖、九江、漢口、沙市、宜昌、重慶の八港、洞庭湖畔に、岳陽²、珠江の沿岸に、梧州、南寧及び三水³、あり、内地に龍洲⁴、思茅⁵、及び蒙自⁶、の陸路

(東アムフ) 支那

San-sui Lung-chau Szu-mao

Yo-chau Meng-ting

(二十五)

貿易場あり、此中宜昌、重慶、沙市、杭州は日清の役後我邦に對して新に開きたる四港なり、上海は貿易全額の半を占め、廣東これに次ぎ全額の一割を占む。

陸路貿易場中、ロシア領キヤクタに接せる、賣買城の如きは、最も盛んなりとす。

Kiakhta

交通。支那の交通は未だ十分なりと云ふを得ず、其沿海航路は汽船の往來盛んなりと雖ども、内地に至ては不便なる點少しとなさず、鐵道は僅に北京、天津、山海關を通ずるのみ、外に上海、吳淞間に短距離の鐵道あり、北部は道路稍見るべきものありと雖ども、南部は水利を待みてこれを修めず、電信は到る所其便あれども、郵便の制は未だ十分ならず。

Kiaokhta
Kiakhta

水路はこれを内地航路、及び沿海航路に分つ。

内地航路の主たるものは揚子江、珠江、及び大運河の三とす。

大運河は、隋の煬帝の開鑿せる所にして、浙江省の杭州府に起り、揚子江、淤黃河、黃河を横斷し、天津に於て白河に通ず、長さ三百二十五里、支渠を合すればこれに倍す、其大なると全世界中其比を見ず、揚子江下流地方には、小運河非常に發達し、水利至大なり、沿海の航路は非常に發達し、各開港場は勿論、東は本邦及びアメリカに通じ、南西は南洋諸島及びヨーロッパに達し、其往來極めて盛んなりと雖ども、其會社は實際外國人の手によりて經營せられ、全く支那人の營める

は、僅に招商局あるのみ。

道路。北部の道路は稍整頓し、多くは車馬を通ずるに難からず、支那の俗に、南船北馬と稱するは、これが爲なり、但し陝西省より、四川省の成都に入るは險にして、所謂蜀の棧道と稱するものなり、運搬は車馬、人肩に依る、又一輪車なるものあり、一に手車と云ふ、一輪にして往々帆を附する者あり。郵便の制は完全ならずと雖ども、信局なるものあり、私立の郵便なり、又飛脚の制あり、各開港場間には官設の郵便あり。

電信は支那全國到る所、重要なる都邑を連結し、延て諸外國に通じ、南は廣東より、トンキンに通じ、海底、陸上各一線あり。

り、又雲南よりトンキンに通ずる陸上線あり、西は北京より天山南路に通じ、東は海底線によりて、本邦の臺灣及び長崎に通じ、北は朝鮮の義洲は勿論、ロシア及び朝鮮の境に近き、琿春及びシベリア南部のキヤクタに通ずるに至れり。

地方誌。

イ、支那本部。

支那本部は、即ち十八省の總稱にして、南嶺、北嶺はこれを三部に分ち、黄河、楊子江及び珠江の三大河、其間を流る、北部は北嶺以北にして、即ち主として黄河の灌域に當り、中部は二嶺の間にして、主として楊子江の灌域に當り、南部は南嶺

以南にして、主として珠江の灌域に當る、北部は大陸性氣候を有し、冬殊に嚴しく、南部は熱帶に入り、瘴癘多く、中部は氣候溫和、地味最も豊饒なり。

直隸 Chih-li 1 省は東北を占め、國都北京の所在地にして、帝國第一の要地なり、故に此一省を以て一總督を置く、東南は平地廣大にして、所謂中原の一部をなす、舟楫を通ずるは運河、白河等あるのみにして、交通は主として陸路に依る、北部は石炭多く、開平炭坑の鐵道は、天津より起り、開平を経て、山海關に達す、又近時天津より北京に至る、蘆津鐵道落成せり。

本省は燕趙の故地にして、都邑の主なるものは、北京、天津、保定の三府なり。

1 Peking
Peking

北京 Peking 1、北京は現今清朝の國都なり、一に燕京と稱す、市街を圍らすに、城廓を以てし、廓内を又内外二城に分つ、内城の中に皇城あり、皇城の中に大内あり、此所は皇帝の居城なり、内城は諸官衙、各國公使館等を包含すれども、其商業の繁盛は外城に及ばず、西北隅の門外に圓明園あり、イギリス、フランスの同盟軍、嘗て北京に逼り、兵をこゝに駐め、爲めに兵火に罹りたり、北京の人口凡そ百六十萬と稱す、街路廣濶なれども、凸凹甚しく、且つ不潔を極む、本邦公使館は、内城の正陽門内にあり。

2 Tien-tsin
Tien-tsin

天津 Tien-tsin 2 北京に入るの咽喉にして、直隸總督此所に駐在す、支那條約港の一にして、且つ北部貿易の中心なり、白河の河

(東アシア) 支那

口に近き太沽より、流に沿ひ浜れば、其左岸に在り、冬季は十一月中旬より、河水氷結するを以て、其貿易は夏季に限れり、本邦領事館あり、白河口に近き太沽(天津より十四里)に、砲臺の設ありて、兵備を嚴にす。

保定府は、昔時直隸省の首府たり、北京より山西、河南に通ずる要路に當る。

承德府は一に熱河と稱す、北京の東北、凡そ六十里に當り、イギリス、フランスの同盟軍、北京に逼りしとき、清帝避難の地たるを以て、最も名あり。

山東省。南は江蘇省に接し、西は直隸省に境す、東は山東半島Shantung或は登洲半島遠く黃海中に突出し、其端を山東高角

Shantung
Chan-toung

1. Tschifu
Tchifou
2. Wei-hai-wei
Wei-hai-wei

と云ふ、泰山は半島西端にあり、五岳の一にして、東岳又岱宗と稱す、沿岸には芝罘、威海衛、榮城灣、膠洲灣等の良港あり、北岸にては、春秋の候、蜃氣樓の現象を見る、土人これを海市と云ふ。

濟南府は山東省の首府なり、府の南に歷山あり、舜の耕せし所とす。

芝罘¹は條約港の一にして、北支那に於て氣候最も順良の地なりと稱す、本邦領事館あり。

威海衛²は芝罘の東にありて、劉公島其口を扼し、要害堅固なる軍港なりしも、日清の役、北洋艦隊は、此所に於て全滅せられ、其砲臺は全く撃碎せられ、償金を皆濟する證として、

- 1. Schansi
Ohan-si
- 2. Honan
Ho-nan

我威海衛占領軍は此處に久しく駐在したりき。
山西¹省。東は直隸省に接し、西は黄河を以て陝西省に隣す、恒山は一に北岳と稱し、五岳の一なり、首府を大原府と云ふ。

河南²省。東は安徽、江蘇、山東の三省に接し、西は陝西省に境す、嵩山は五岳の一にして、中岳と稱す、黄河は省の北部を貫通し、洛水の一支流これに會す。

都府の重なるものには、開封及び河南の二府あり、開封府は河南省の首府にして、河南府は洛水の北にあり、古の洛陽の地なり。

陝西³省。東は山西、河南兩省に接し、西は甘肅省に境す、

羊毛、苧麻を主なる物産とす、華山は五岳の一にして、西岳と稱す、北は渭水の流域にして、關中の平野をなし、首府西安府は其中心なり、南は漢江の流域にして、漢中府は其中心たり、西安府は古の長安にして、漢唐の故都なり、渭水其北を流れ、其水清し、名所舊跡多く、阿房宮跡亦此中に在り。

甘肅¹省。東は陝西省に接し、西は青海に隣す、蘭洲府は甘肅省の首府にして、陝甘總督此所に駐在す。

江蘇²省。東は黄海に濱し、西は河南及び安徽兩省に接す、地勢最も平坦にして、大江は南部を貫き、高郵、洪澤の二湖、大運河及びこれに通ぜる河渠、縦横に省中を流通し、水利最も便に、地味肥沃にして物産豊なり。

- 2. Kiangsu
Kiang-sou
- 1. Kansu
Kan-sou

- 3. Schensi
Ohan-si

3. Schang-hai 2. Kiang-ning 1. Su-tschou
Ohang-hai Kiang-ning Sou-tcheou

都邑は蘇洲、上海、鎮江、江寧及び楊洲、最も名あり。
蘇洲¹ 府は本省の首府なり、馬關條約により、新に開かれ
たる四港の一にして本邦領事館あり、太湖に望み、古吳の都
せし所なり、姑蘇山、寒山寺の故跡は府の近傍に在り。

江寧² 府は世に南京と通稱す、府は大江の南岸にあり、元
市街の規模宏大にして北京を凌ぎしも、長髮賊の亂に際し
て、大に侵略を蒙りしが、近來漸く其面目を恢復するを得た
り、兩江總督の駐在する所なり。

上海³ は黃浦江によりて揚子江に通ず、大船此に入るを
得べし、人口凡そ四十萬、支那條約港中、最も重要なるものに
して、外國貿易の中心なり、其近傍の吳淞口には、砲臺を設け、

1. Tsching-kiang.
Tching-kiang
2. Nganwhei
An-hoi
3. Wu-hu
Wu-hu
4. Kiangsi
Kiangsi

黃浦口には江南機器局を設く、市街は平坦にして、運河縱横
に通ずる便あるも、街路狹隘にして、不潔なり、吳淞との間に
鐵道を通ず、本邦總領事館あり。

鎮江¹ 府は條約港の一なり、江寧府の東方に當りて、同じ
く長江の南岸に位し、且つ大運河と長江との會合點にあり、
楊洲府は鎮江と相對し、古來風流繁華の地なり。

安徽² 省。東方は江蘇、浙江の二省、西方は河南、湖北、江西
の三省に依て圍繞せらる、長江及び漢江は省中を貫通し、最
も舟楫の便あり、首府を安慶府と云ふ、大江の左岸にあり、蕪
湖³ は條約港の一にして、長江の右岸にあり。

江西⁴ 省。東は浙江、福建兩省に接し、南は廣東省に境す、

Kiang-si
(東アムン) 支那

長江の北部、此所を通過す、省の北部に鄱陽湖ありて江に通ず。

- 1. Kiu-kiang
Kiou-kiang
- 2. Tschekiang
Tché-kiang

南昌府は本省の首府にして、贛江の右岸にあり、鄱陽湖の水、長江に通ずる所、左岸に近く九江¹あり、條約港の一にして、支那第一の陶器製造場あり、九江に香爐峯^{Kiuei-tang}の名山あり。

- 3. Hang-tschou
Hang-tcheou

浙江²省。北は江蘇省に接し、南は福建省に境す、杭州府^{Hang-chau}

- 4. Ning-po
Ning-po

は本省の首府にして、錢塘江岸にあり、馬關條約により、新に開きたる四港の一にして、本邦領事館あり、此地は風景の美と、海嘯の壯觀とを以て其名著はる。

- 5. Wen-tchou
Ouen-tcheou

東海岸には、寧波⁴及び溫洲⁵の兩條約港あり、我國舊時の遣唐使は多く寧波に着せしなり、溫洲は浙江省の南東岸に

位し、溫洲蜜柑の名産あり。

- 1. Fokien
Fou-kian

福建¹省。東は臺灣海峽を隔て、我臺灣に對し、西は江西省に境す。

- 2. Fu-tschou
Fu-tcheou

福州²府は本省の首府なり、人口凡そ百萬、外國貿易隆盛なり、福建艦隊の根據地にして、又閩浙總督の駐在する所とす、近傍に馬尾船政局あり。

- 3. Amoy
Amoy

廈門³は福建省の南東部にあり、茶及び砂糖を以て重要な輸出品とす、此地臺灣に對し、南洋諸島を控へ、且つ香港、上海の間に位するを以て、將來益盛大に趣くべし、本邦領事館あり。

- 4. Kwangtung
Kouang-toung

廣東⁴省。支那の東部を占め、地勢山岳多しと雖ども、珠

(東ノ支那)

- 1. Kwang-tschou
Kouang-tcheou
- 2. Kanton
Canton
- 3. Kiung-tschou
Kiung-tcheou
- 4. Pak-hoi
Pa-koï
- 5. Swa-tau
Swatow

江の本支流域内を貫通し、江岸に平地多く、且つ水利頗る便なり、本省の人は商業最も巧にして、山西省の人と並び稱せらる。都邑の主なるものに廣洲、汕頭、瓊洲、北海の條約港あり。廣洲¹府は廣東省の首府にして、又兩廣總督の駐在する所なり、世上單に廣東²と稱す、人口二百萬、支那南部貿易の中心なり、此地球江を控へ、香港に對し、頗る緊要の地にして、廣東艦隊の根據地なり。

瓊洲³は瓊洲島の北岸にありて、其條約港を海口と云ふ、北海⁴はトンキン灣に濱し、汕頭⁵は廣東省の東北隅に位す、何れも條約港なり、汕頭の北に潮州府あり、韓愈の故事を以て著はる。

- 1. Kwangsi
Kouan-si

- 2. Hupei
Hou-pé

- 3. Han-kau
Han-keou

廣西¹省。東南は廣東省及びトンキンに接し、北は湖南、貴洲に境す、桂林府は本省の首府にして、西江の支流桂江の岸に濱する小都會なり、梧州は廣東省の境に接近し、西江の左岸にあり、近時イギリス國の爲めに、新に開きたる條約港なり。

湖北²省。東は安徽省に接し、西は四川陝西兩省に隣す、中央は平野廣大にして、長江及び漢江の流域に當り、數多の湖沼ありて運輸至便なり。

武昌府は本省の首府にして、又湖廣總督の所在地なり、大江を隔て、漢陽府及び漢口と相對し、鼎足の勢をなす、赤壁は此近傍にあり、漢口³は漢江の大江に注入する所に位し、

(東アミア) 支那

Han-kau

(四十)

- 1. Scha-schi
Cha-chi
- 2. I-tchang
I-tchang

- 3. Hunan
Hou-nan

支那内地商業の中心にして、所謂九省の通衢に當る、人口八十萬、現今重要なる輸出品は茶なり、本邦領事館あり。荆洲府はもと楚の都にして、府内の沙市^{Sa-shi} 1 は、馬關條約によりて、新に開きたる四港の一なり、本邦領事館あり。宜昌^{Yi-chang} 2 も亦條約港の一なり、長江汽船航路の終點に位し、四川省に入る門口に當り、頗る重要な位置を占む、上海を距ること九百五十二哩なり。

湖南^{Hu-nan} 3 省。東は江西省、西は貴洲、四川兩省に境す、四方連山を以て圍まれ、中央に衡山あり、五岳の一にして、南岳と稱す、省中の河水は洞庭湖に入り、遂に長江に通ず、湘江の岸に長沙府あり、本省の首府にして、此近傍の都邑なり。

- 1. Sz'tschwan
Sse-tchouan

- 2. Tschung-king
Tchung-king
- 3. Kweitschou
Kwei-tcheou

- 4. Junnan
Yun-nan

四川^{Szu-chuan} 1 省。古の蜀の地なり、東は湖北、湖南兩省に接し、西は横斷山脉によりて、西藏に接す、湖北の境には巫山の峽あり、東の境には蜀の棧道ありて、本省は天險の地なり、省内地味肥沃にして、物産最も饒なり、就中鹽井頗る多し。

成都府は四川省の首府にして、四川總督の駐在地なり、重慶^{Chung-king} 2 府は宜昌を距る四百哩、馬關條約によりて、新に開きたる四港の一なり。

貴洲^{Kwei-chau} 3 省。東は湖南省、西は雲南省に接す、地勢山多く、平地極めて少し、首府を貴陽府と云ふ。

雲南^{Yun-nan} 4 省。東は廣西、貴洲二省に接し、西はビルマ及び西藏に界す、西部は横斷山脉の連亘する所にして、交通殆んど

絶ゆ、城内を流通する大河多く、金沙江、怒江、瀾滄江、盤江等諸大河の上流を通ぜるも、急流にして舟運の利あるもの殆んどこれなし、雲南府は本省の首府にして、雲貴總督の駐在する所なり。

滿洲ⁱ

Manchuria

滿洲は清朝の起りたる故地にして、現今奉天、吉林、黒龍江の三省に區分せられ、支那全國の東隅に位するを以て、東三省の名あり、長白山脈は滿洲の東部に蜿蜒し、其最高點、白頭山は朝鮮の境上に位し、松花江、圖們江及び鴨綠江は源を此に發す、又西南に走りて摩天嶺を起し、金洲半島の脊骨をなす。

1. Chanka
Chanka

湖水の有名なるものを、興凱³湖とす、烏蘇里江の水源にして、魚族充滿す、氣候は大陸性にして、寒暑共に烈しく、地味肥沃なれども、人烟稀少、農産未だ豊ならず、高粱頗る多し。林産は針葉樹最も多く、鑛産は金最も名あり、水産も亦少からずと雖ども、土人未だ漁業に精からず、又獸皮に富み、就中貂皮最も名あり、土人は貂皮を以て、商業上貨幣に代用するに至る。

滿洲人はトングス種に屬す、滿洲八旗の兵を出すものにして、これを旗人と稱し、移住の漢人は、これを民人と稱して區別す。

奉天省。奉天省は一に盛京省と稱す、遼河の灌域に當り

(東アツク) 支那

(四十五)

て、所謂遼東の平野をなす。

1. Mukden
Moukden

奉天¹ 府は一に盛京と稱す、奉天省の首府にして、山海關を距ること、百二十四哩、圍らすに城廓を以てす、府尹、將軍、五部の衙門、此都府にあり、東三省政治上の中心なり、商業亦繁盛なり。

牛莊² は遼河の左岸にある條約港にして、營口即ちこれ

なり、本邦領事館あり、近傍に田庄台、海城、蓋平等日清の役に、有名なる土地多し。

2. Niu-tschwang
Niu-tchwang

遼東半島の端に近く旅順口³ あり、其東に大連灣あり、又

旅順口の東北に、金洲廳あり、亦鴨綠江の右岸にありて、朝鮮義洲に對するを九連城とす、九連城の西北に當り、朝鮮より

Port Arthur

奉天府に通ずる中路に鳳凰城あり、奉天府より山海關に通ずる中間に錦洲府あり、何れも要害の地にして、日清の役に、其名高し、興京は清朝創業の地なり、花園口は日清の役、我軍の上陸せし所なり。

吉林省。吉林省は滿洲の東部を占め、松花江の水によりて、黑龍江省と境をなす、吉林府、寧古塔及び琿春の都邑あり、

吉林¹ 府は本省の首府にして、松花江に濱し、舟運の便あり、吉林將軍此所に駐在す、寧古塔² はシベリア及び朝鮮に

入る要路に當る、而して二國の境上に密接する琿春³ 城は、

最も緊要の地なり。

1. Kirin
Ghirin-oula

2. Ninguta
Ningouta

3. Hun-tschun
Hun-tchun

黑龍江省。滿洲の西北部を占め、松花江の支流これを

(東アツア) 支那

(四十七)

1. Tsitsihar
Tsitsikar

2. Aigun
Argoun

貫流す、齊々哈爾¹城は本省の首府にして、黒龍江將軍此所に駐在す、愛琿²は一名黒龍江城と稱す、黒龍江の岸に位し、ロシア領と一帯の水を隔つるのみなれば、極めて緊要の地なり。

ハ、蒙古³

Mongolia

支那全國の北部を占め、北はシベリアに境し、南は略ぼ萬里の長城によりて、支那本部に境す、沙漠は蒙古の中部を縦貫し、全土を内外の二部に分つ。

域内には黄河の一部、流通するの外、河流の大なるものなし。

蒙古の氣候も亦大陸性にして且つ沙漠の暴風は、其勢猛

烈なり、地味も亦瘠せて、農産に乏しく、唯家畜を以て物産の主たるものとす。

蒙古人は、通常身長中様より低く、強健なり、彼等は常に騎し、最も競馬を好む、此人種は決して身體の全部を洗はず、顔及び手を洗ふことも極めて稀なり、これ水を嫌ひ、且つ殆んどこれを恐るゝに因る。

蒙古人は喇嘛教を信ず、貴族及び喇嘛教徒を除くの外、其死者の體を委棄して鳥獸の餌に供す。

清朝の世に至り、蒙古の要地に將軍、都統、大臣を置き、以てこれを統御す。

庫倫は又ウルガと稱す、外蒙古北部の中心たる都府にして

Urga
Ourga

(東アツテ)

支那

Urga

(四十九)

て、喇嘛教徒頗る多く、其殿堂は頗る壯嚴なり、賣買城はロシアの境上に密接し、ロシアに屬するキヤクタの市邑と僅に一木柵を以てこれを區別す、ロシアとの陸路貿易場にして、茶の取引最も盛なり。

ニ、新疆省。

新疆¹ 省は古の西域の地なり、支那全國の西部を占め、昔の新疆^{Sin-kiang}及び回疆の全部、及び古の甘肅の一部を包括す、天山の山脉域内を横斷して、地勢自ら二部に分る、北は天山北路又ズンガリアと云ひ、南は天山南路又東トルケスタン、或は支那トルケスタンと云ふ、天山北路は、伊犁河の灌域にして、其地味大抵肥沃、天山南路は、塔里木² 河の灌域にして、大部

1. Sin-kiang
Siu-kiang

2. Tarim
Tarim

は沙漠なり。

氣候は純然たる大陸性にして、寒暑共に烈し、其物産は家畜を最とし、又崑崙山系より玉及び金銀を産す、天山北路の人民は、多く蒙古種に屬し、回教を信ず。

迪化府又烏魯木齊¹ と云ふ、新疆省交通の要路に當り、新

疆巡撫此所に駐在す、伊犁府は一にクルジャ² と稱す、北京

を距ること一千四百里、嘗て露國と葛藤を生じ、一時露人に

占領せられたることありしも、其後清國これを回復し、伊犁

將軍今此所に駐在す。

*、青海

青海地方は支那帝國全土の中央を占め、地勢險峻なり、崑

3. Kuku-nor
Kou-kou-noor

1. Urumtsi
Ouroumtsi

2. Kuldsha
Kouldja

(東アムン) 支那

- 1. Tibet
Tibet
- 2. Nepal
Népaul

- 3. Bhutan
Boutan

- 4. Sanpo
Sangpo

崑山系域内に連亘し、黄河、揚子江兩河上流の分水嶺をなす、域内の東北隅に青海と稱する大湖あり。物産は犛牛にして、牧畜の業最も盛なり、人烟非常に稀少にして、凡そ十五萬とす、其人種多く蒙古種に屬す。

西 藏

Tibet

西藏は地球上にて地理最も不明なる部に屬す、其境域北は崑崙山系を以て、新疆省及び青海に境し、南は喜馬拉山系を以て、イギリス領印度及びネパール²、ブータン³に接す、世界第一の高原にして、高度平均一萬二千尺なり、國中湖水多く、特に北西部を甚しとす、インダス河及びサンポ⁴河は、南西隅に源を發し、瀾滄江、怒江も亦北東隅に源を發す。

- 1. Lhasa
Lhasa

- 2. Hong-kong
Hong-kong

西藏は寒氣極めて凜烈なり、これ非常なる高度を有し、且つ大陸の内部に位するを以てなり、夏は短しと雖ども非常に暑し、西藏の地は、近來支那に屬したるも、其内政は自治に任じ、唯外交及び軍政のみ、中央政府の指揮を受く。國を東西二部に分ち、前藏、後藏と稱す、首府拉薩¹は前藏にあり、喇嘛教の教主は此府に住し、兼て西藏の政治を主宰す、宮殿及び寺院は、何れも壯麗を極む、北京を距ること千八百餘里なり。

附 香 港

Hong-kong

支那南部にありて、珠江の河口に位する一小島なり、もと香山と稱せし地なるが、阿片戦争の結果として、今を去るこ

(東アフリカ) 支那

1. Victoria
Victoria

と五十餘年前、支那よりイギリスに割譲せり、對岸の支那本陸とは、七町を隔て、九龍と相對して、一大良港をなし、市街は島の北岸にありて、ヴィクトリア^{Victoria}府と云ふ。

香港は、東洋貿易の中心にして、東西交通の要路に當り、又南洋に對しても、通商上緊要なる位置を占む、故に其貿易の盛大なること、東洋第一にして、本邦との貿易も亦大なり、明治三十年間、本邦より香港に輸出したる高は、千二百萬圓にして、銅、摺附木、石炭、水産物、米を主なるものとす、又香港より本邦に輸入したる高は、一千二百萬圓にして、其物品は殆んど全く砂糖なりとす。

本港は、イギリスより派遣せる、支那艦隊の根據地なり、實

Makao
Macao

にアメリカのヴァンクーパーと、アジアの香港とは、イギリス國の最も重要なる兵站上の要港なりとす。本港は、又日本郵船會社の主要なる航路に當り、長崎を距ること、一千〇八十五哩なり、本邦領事館の設あり。

附 澳 門
Macao

澳門は、珠江右岸の三角洲に屬する一大島の一小部をなし、半島形をなして突出し、香港の西に當る、舊時よりポルチユガル人、此所に殖民し、遂に純然たるポルチユガル領となりしなり、面積一方里に満たず、此地は本邦人の夙に通商を試みし所なり、而して良好なる錨地に非ざるを以て、香港の開港以來、全く衰微を極むるに至れり。

第二節。朝鮮。

Korea

總論。

位置。東部アジアに位する、狹長なる一大半島國にして、我國の西方に當る。

境界。北は鴨綠江、長白山脈及び圖們江の一部を以て、滿洲及びシベリアに接し、西は黃海に濱して、支那本部に對し、南は朝鮮海峽によりて、我九州に向ひ、南東は我對馬と海水を隔て、西水道をなす、而して東は一面日本海に臨む。

面積。約一萬三千餘方里にして、我本州より少しく小なり、南北は二百五十里、東西凡そ六十里に出入す。

1. Tschang-pai-schan
Chang-pai-shan

2. Jalu
Yalu

區劃。行政上、十三道に分つ、京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尙北道、慶尙南道、江原道、咸鏡北道、咸鏡南道、黃海道、平安北道、平安南道、これなり、今京畿道を境とし、北を北韓、南を南韓とす。

地勢。滿州の東方に、蜿蜒せる長白山脈¹は、國の北境を

Chang-pai-shan

限り、これより南方に派出せる一大支脈は、大關嶺にして朝鮮を縦貫し、其山軸、頗る東方に偏して南走し、地勢は其山脉の走向に沿ひ、東方に峻峻にして、南西方に陵夷せるを以て、大河は多く西方にあり、東方に流るゝものは、僅に圖們江あるのみ、之に反して、南西方に流るゝものは、北支那の境より擧ぐれば、鴨綠江、大同江、漢江、錦江、洛東江等の諸大河あり

(東アソク)

朝鮮

(五十七)

て、多くは舟楫を通ず。

氣候。寒暑共に烈しく、南韓は稍溫暖にして、冬季積雪二三寸を超ゆることなく、河水も海岸に近き所は、多く氷結せず、冬季は三寒四暖と稱する氣候の變換あり、冷熱相交代するを以て、人をして氣候に堪ゆることを得しむ。

住民。朝鮮の人口は、凡そ五百萬人にして、蒙古人種の一支なり、學問は、唯經書を誦し、詩文を習ひ、試験に應じて官吏となるを目的とす、通常の人には、諺文と稱する文字を用ゆ、諺文は、アルファベットの仕組にして、母音十一、子音十四を結合して、百五十四音をなす、然れども上流社會の通信及び舊時の公文は、凡て漢文のみを用ゐたり。

風習。沐浴することなく、一日中朝寢午睡を貪り、喫煙を事とす、其家屋は概ね狹隘陋小にして、庭園の設なし。

衣服は、上衣と袴とより成り、通常藁履を穿ち、竹冠を戴き、兩班、中人、常人、奴隸の四階級ありて、門閥を尊ぶ。

宗教。佛教は現今帝室の禁ずる所なるを以て、國風僧徒を賤む、普通の人民は、巫女を信ずること甚しく、一種の妖教をなす、上流社會の人は、孔孟の道德を口にするのみ、死者は厚くこれを葬る。

政治。純然たる君主專制にして、皇帝の下に内閣あり、内閣は内部、外部、度支部、軍部、法部、學部、農商工部の七衙門より成り、各衙門に大臣を置く、又各道に觀察使を置き、道を分ち